

Better than Ever



Better than Ever

編集方針

2020年度、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、エフテックグループを取り巻く企業活動に大きな影響をもたらし、またCSRの推進活動にも少なからずその影響を与えました。このコロナ禍での、CSR活動の推進および地域貢献活動等の取り組みにおいて、グループ内での情報共有は、平時と比較して困難でありました。

こうした中、本報告書では、10年以上にわたりエフテックグループにおいて取り組み続けてきた環境・社会的活動を、継続的かつ正確に報告することを重要テーマとしました。

本報告書では、2017年度から開始した「CSR報告書」の編集を踏襲しつつも、「持続可能な開発目標（SDGs*）」を念頭に入れ、報告内容のより一層の充実、およびESG関連のデータ開示の拡充にも努めています。

特に「ワークライフバランス」「EV（電気自動車）化への対応」は、社会の要請を踏まえた重要なテーマとして「VOICE」や「TOPICS」に別掲いたしました。

また、環境については環境省「環境報告ガイドライン」（2018年版）、社会的責任については「ISO26000」などを参考にしています。

なお本報告書中、当社グループについては、エフテックグループないし当社グループ、株式会社エフテックについては、エフテックないし当社と表記しています。

* Sustainable Development Goals

Contents

- 01 編集方針
- 03 トップメッセージ
- 04 企業活動概要
- 05 グループ・会社概要
- 07 経営理念とCSR
- 08 CSR体制
- 09 ガバナンス /コンプライアンス /リスクマネジメント

- 11 働きやすい環境づくり
- 13  柔軟な働き方への取り組み
- 14 労働・安全衛生の取り組み
- 15 品質保証の取り組み
- 16 株主・投資家とのかかわり
- 17 地域社会とのかかわり

- 18 環境方針／環境理念
- 20 環境マネジメント
- 21 エフテックグループ 環境目標
- 22 2020年度 環境・エネルギー計画
- 23 CO₂排出量・水資源使用量・廃棄物排出量削減の取り組み
- 24 マテリアルフロー
- 25 エフテック環境会計
- 26 サプライチェーンマネジメント
- 27  2020年度グループ環境施策共有
- 28 環境に配慮した製品・技術
- 29  安全かつ最高品質な製品の開発

- 30 グローバルでの取り組み
- 36 新型コロナウイルス感染症(COVID-19) への対応
- 37 データ集

報告対象期間

2020年度(2020年4月～2021年3月)の実績と一部期間外の内容を含みます。

報告対象組織 (P6)

国内：3拠点及び関連会社3社

海外：関連会社12社 14拠点

将来の予測・計画・目標について

本報告書にはエフテックグループ上記「報告対象組織」の将来に関する予測についても記載しています。

これらの記載は、記載した現時点での情報に基づいた予測であり、確定的なものではありません。そのため将来の事業活動の結果が、本報告書に記載した予測とは異なる場合があります。



"Better than Ever"をスローガンに
モノづくり企業としての本質を追求します。

代表取締役社長

福田 祐一

不確実かつ混迷が深まる時代だからこそ 「Back to Basics」を徹底します

エフテックグループは、2020年度より新たに第14次中期経営計画をスタートしました。自動車業界はCASEを始めとする大変革期にあります。また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による負の影響や半導体不足により、自動車生産台数が世界的に減少する厳しい状況に直面しています。

こうした中、当社グループは、前中期経営計画の全社方針である「Back to Basics, Challenge for New」を土台に、「限界突破！ 世界中のお客様にこだわりのBest Oneを」を全社方針に掲げ、「Better than Ever」をコーポレートスローガンと定め、事業を展開しています。

当社の強みである「足廻り機能領域」の専門性をよりいっそう強固なものとする「Back to Basics」と、新たな時代の要請に応える為に果敢に挑戦していく「Challenge for New」を両輪に、どんな困難に直面しても「Better than Ever」の精神で前進を続けます。

働き方改革では、Web会議の活用や情報共有方法の見直しなどを図り全員がいきいきと活躍できる「働きやすい環境」づくりを進めています。また、ITの利用を進める為に、部門横断型のITワーキングチームを立上げ、現場の困りごとを抽出し、情報システム部門と連携し、課題解決に取り組んできました。こうした取り組みにより、稟議書決裁システムの内製化や作業日報のペーパーレス化などの成果を生み出しています。開発領域では、将来の「試作レス化」への対応として、シミュレーション技術の更なる進化への取り組みを進めています。

コンプライアンスの徹底では、「わたしたちの行動指針」を改訂し、より分かりやすくするとともに、各海外子会社向け翻訳版の作成を進めています。当社グループで働く全員の行動の原点となる「わたしたちの行動指針」を共通理解とし、より良い社会の実現に寄与してまいります。

ダイバーシティでは、性別、年齢、国籍に関係なく多様性を重視する取り組みを進めています。本社・久喜

事業所では埼玉県から「多様な働き方実践企業」としてゴールド認定を取得していましたが、さらに男性の働き方を見直す取り組みが評価され「プラス評価」を獲得しました。また、亀山事業所では三重県から、これまでの働き方への取り組みや、地域社会への貢献実績が評価され、「みえの働き方改革推進企業」として、「グッドプラクティス賞」を受賞しました。（P.11）

また、グループ全体での環境取り組みについては、コロナ禍による生産調整の影響もあり、CO₂排出量や廃棄物排出量は、売上高原単位とともに減少しています。しかし、水使用量については減少しているものの、原単位では悪化しており、改善への取り組みを進めていきます。（P.18）

「Challenge for New」から 「Better than Ever」へ EV足廻り部品の開発等の取り組みを前進 しています

脱炭素、環境問題への対応から自動車の動力構造の変更を促す動きが急速に高まっています。自動車の駆動がBEV（バッテリー）、FCV（フューエルセル）になるという流れは止まる事はありません。BEVのサブフレームでは、いっそうの軽量化が求められるとともに衝突安全性や操縦安定性などにおいて高い要件をクリアしなければなりません。当社では独自に開発を進めてきた最適化設計シミュレーションの活用と強度、耐久、性能解析をリンクさせた製品開発プロセスにより、最適製品設計を実現しています。また、他社との技術交流を進め、当社の可能性拡大に繋げるネットワークづくりにも積極的に取り組んでいます。（P.28）

当社グループのCSR委員会が新体制となった矢先にCOVID-19に遭遇し、依然コロナ禍の終息は見通せない状況ではありますが、CSRの取り組みを確実に進め、グループ運営の強化に繋げてまいります。そして、「モノづくりの本質」を追求し、どんな時でも「Better than Ever」を目指してまいります。

新型コロナウイルス感染症を契機として、 全グループで運営強化と体質改善に取り組みます。

財務指標

■売上高

新型コロナウイルス感染症から中国が早期の回復を見せたものの、日本、北米における売上減少が回復せず、前期比16%減少の連結売上高1,836億円となりました。

■営業利益

前期比24.9%減少で31億円となりました。日本の商品売上増加及び経費削減効果はあったものの、世界的な新型コロナウイルス感染症の影響による、連結売上減少の影響が大きく、減益となりました。加えて、半導体供給不足による自動車生産減少も、影響を与えています。

■有利子負債残高

2019年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、手元流動性を確保したことにより、513億円となったものの、2020年度は借入金減少を着実に実行しております。

■有利子負債依存度

2015年度末に42.5%まで上昇したものの、総資産残高の継続的な管理強化により、2017年度から連年30%台を保っています。

環境指標

■CO₂排出量

目標：2017年度 CO₂排出原単位比4.2%削減
2020年度実績は原単位0.381t-CO₂/売上百万円（2017年度比▲13.9%）となりました。

■廃棄物排出量

目標：2017年度 廃棄物排出量原単位比3%削減
2020年度実績は原単位 0.022ton/売上百万円（2017年度比▲9.9%）となりました。

■水資源使用量

目標：2017年度 水資源使用原単位比3.3%削減
2020年度実績は原単位 3.48 m³/売上百万円（2017年度比+11.7%）となりました。

	項目	単位	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
財務指標	売上高	百万円	197,941	226,060	235,361	218,712	183,647
	営業利益	百万円	8,035	6,856	6,580	4,088	3,072
	営業利益率	%	4.1	3.0	2.8	1.9	1.7
	ROE	%	12.8	12.8	6.9	0.8	-2.9
	有利子負債残高	百万円	59,129	59,510	46,220	51,342	49,565
	有利子負債依存度	%	40.9	39.5	33.7	38.3	36.3
環境指標	CO ₂ 排出量 (原単位)	t-CO ₂ / 売上百万円	0.483	0.443	0.432	0.415	0.381
	水資源使用量 (原単位)	m ³ / 売上百万円	3.43	3.12	3.08	3.14	3.48
	廃棄物排出量 (原単位)	ton/ 売上百万円	0.045	0.025	0.021	0.023	0.022

エフテックグループの“モノづくり”とは

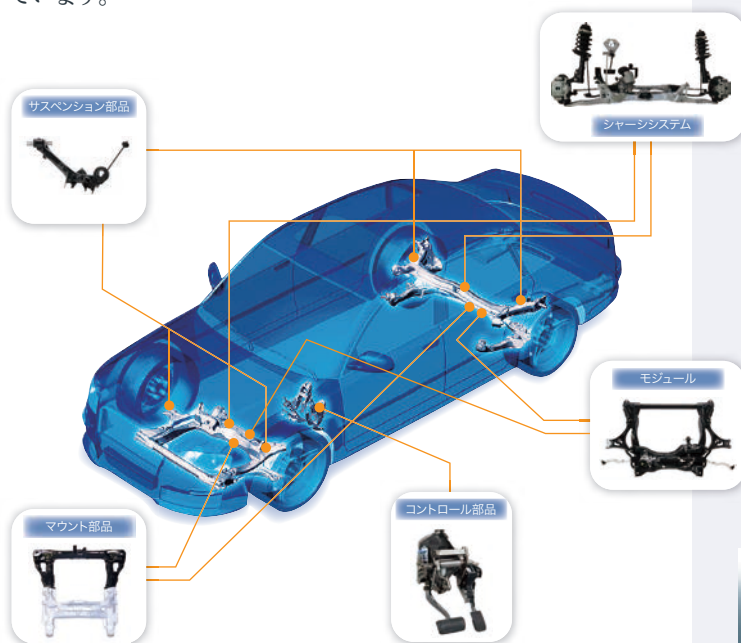
エフテックは、1967年に自動車部品の製造に参入。今では、自動車の「足廻りの総合シャシシステムメーカー」として、設計・試作から量産まで、日本、北米、アジア、中国において、一貫生産体制で完成車メーカーの高度な要求に対応し、高い評価と確かな信頼をいただいております。

私たちの“モノづくり”の強みは、「足廻り部品専門メーカーとしての製造・開発技術」「グローバルで即応できる生産開発体制」です。今後も2つ強みを活かし、強化しつつ、社会への貢献を念頭に、常に新たな付加価値を生み出し、「足廻り機能領域の専門メーカーとして世界No.1」へ、圧倒的に競争力の高い“モノづくり”をめざしてまいります。

Our Products

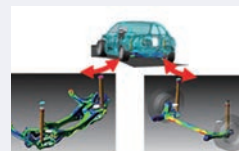
EV化にも対応する「足廻り専門メーカーのトップランナー」

サスペンションアーム、サブフレームやペダルなど、自動車の重要保安部品である足廻り部品を、高い設計技術力と独自の一貫加工体制で製造。自動車メーカーに求められる高い品質を確保しつつ、強度・耐久性と軽量化を同時に成立させています。



■設計技術力

独自の解析技術を駆使して、走行時の足廻りなど製品性能予測に基づいた開発を推進しています。



■最先端加工技術

ハイドロフォーミング、FSW（摩擦攪拌接合）、超精密塑性加工技術FUT-1*など、独自の加工技術を開発しています。

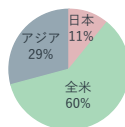
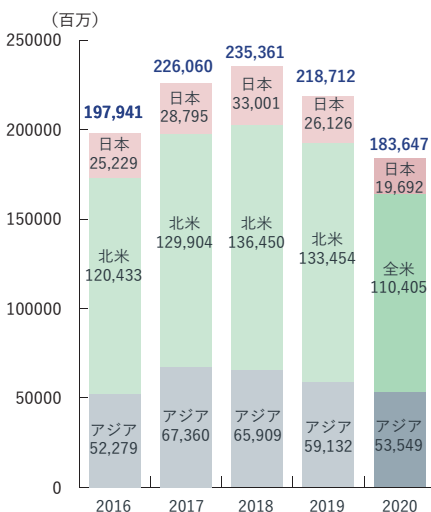
*令和2年度科学技術分野の文部科学大臣表彰・創意工夫功労賞受賞



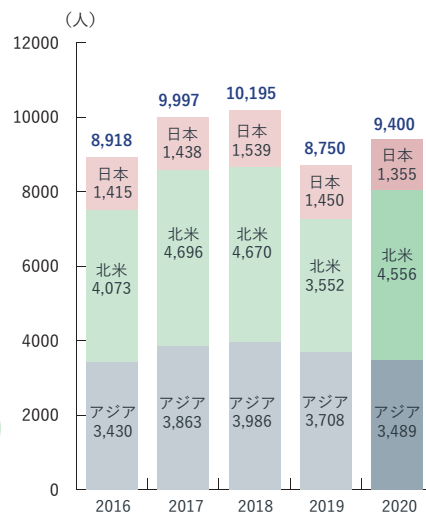
■会社概要

会社名	株式会社エフテック
本社所在地	埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼 19 番地
創立	1947 年 7 月 1 日
資本金	67 億 9037 万円
代表者	代表取締役社長 福田祐一
従業員（連結）	9,400 人
事業内容	自動車部品及びそれに伴う金型、機械器具等の開発・製造・販売

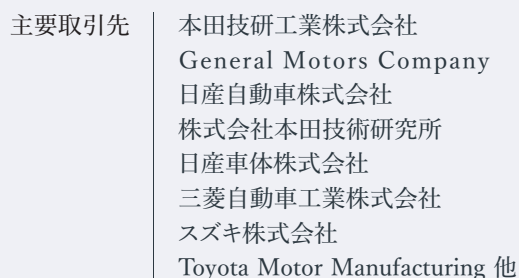
■連結売上高及び地域セグメント別販売実績



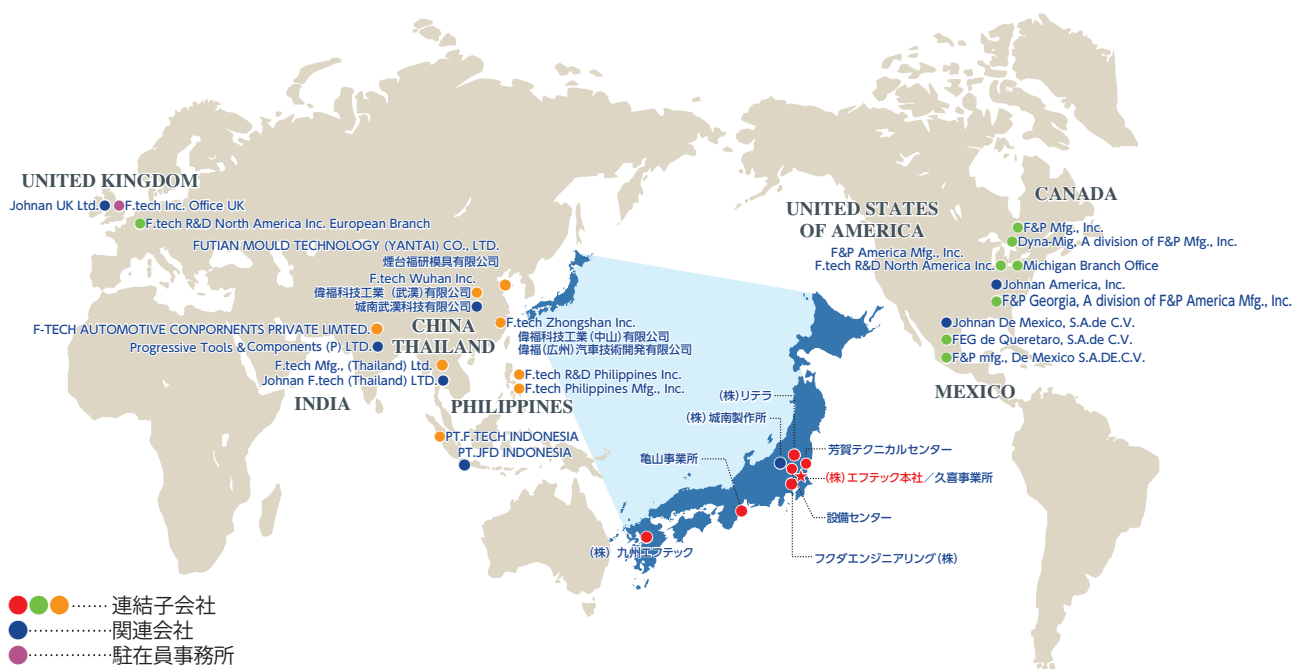
■地域セグメント別従業員数



ホンダグループで培った当社の技術、品質、対応力などへの信頼は、世界の完成車メーカーにも一步一步着実に展開されつつあります。



生産拠点を展開するだけでなく、各地域に開発拠点を設置して顧客ニーズへの即応体制を整備。品質・開発・調達・環境などあらゆる面で情報共有を進め、グループ全体のレベルアップを図っています。



★国内事業所、○国内グループ会社
●海外グループ会社、◎ 報告対象拠点

株式会社エフテック [報告対象 拠点3 拠点]

- ★本社・久喜事業所 [埼玉県久喜市]◎
★芳賀テクニカルセンター [栃木県芳賀郡芳賀町]◎
★亀山事業所 [三重県亀山市]◎
●設備センター [埼玉県加須市]

国内グループ会社「報告対象拠点4拠点」

- フクダエンジニアリング株式会社 [埼玉県加須市] (FEG)◎
- 株式会社九州エフテック [熊本県山鹿市] (QFT)◎
- 株式会社リテラ [埼玉県秩父郡小鹿野町] (リテラ)◎
- 株式会社城南製作所 [長野県上田市] (城南製作所)

海外グループ会社 [報告対象拠点 14 拠点]

- F&P Mig., Inc. [カナダ オンタリオ州] (F&P)◎
- Dyna-Mig, A Division of Mig., Inc. [カナダ オンタリオ州] (DYNA-MIG)◎
- F&P America, Inc. [アメリカ オイダホ州] (F&PA)◎
- F&P Germany, A Division of F&P America, Inc. [アメリカ カジョージア州] (F&PG)◎
- F&P Tech R&D North America, Inc. [アメリカ カロライナ州] (R&DNA)◎
- Michigan Branch Office [アメリカ ミシガン州]
- F&P Tech R&D North America, Inc. European Branch [ドイツ デュッセルドルフ市]
- E.G. DE QUERETARO S.A. DE C.V. [メキシコ クェレタロ州] (FEQG)◎
- F&P MFG. DE MEXICO S.A. DE C.V. [メキシコ グナフアット州] (FPMX)◎
- F&P Philippines Mfg., Inc. [フィリピン ラグナ州] (FPMI)◎
- F&P Tech R&D Philippines, Inc. [フィリピン ラグナ州] (F&RDP)◎
- F&P Tech Mfg., (Thailand) Ltd. [タイ アユタヤ県] (FMTL)◎
- P.T.F. TECH INDONESIA [インドネシア プラワラン県] (FTI)◎
- F&P TECH AUTOMOTIVE COMPONENTS PRIVATE LIMITED [インド ハリヤナ州]

- 輝福科技工業（中山）有限公司 [中国 広東省] (FTZ) ◎
- 輝福科技工業（武漢）有限公司 [中国 湖北省] (FTW) ◎
- 烟台福研模具有限公司 [中国 山東省] (FEGY)
- 輝福（広州）汽車技術開発有限公司 [中国 広州市] (FR&DCH) ◎
- F.tech Inc. Office UK [イギリス ロンドン]
- Johnan America, Inc.
- Johnan De Mexico, S.A.de C.V.
- Johnan UK Ltd.
- Johnan F.tech (Thailand) LTD.
- PT.JFD INDONESIA
- 城南武漢科技有限公司
- Progressive Tools & Component (sP) LTD.
- VEE GEE Auto Components Private Limited.

※煙台福研模具有限公司、Michigan Branch Office 及び European Branch Office は量産工場でなく、環境に関して重要な影響をおよぼしていないため報告対象外としています。

社 是

わたしたちは世界的視野に立ち、高い志と誠をもって価値を創造し、
国家社会に貢献すると共に豊かな未来を築く事に全力を尽くす。

理 念

Challenging Spirit

チャレンジ精神

Respecting People

人間尊重

Making Profit

利益の確保

わたしたちの行動指針

■法令の遵守

わたしたちは、あらゆる行動において倫理的に正しい行為を最優先に考えます。常に、法令・ルールを遵守し、遵法精神が高い企業であるために社会的良識を持って行動します。法令・ルールに違反する行為、違反のおそれのある行為を発見した場合には、所属長または企業倫理改善提案窓口にて報告、提案、相談します。

■人権の尊重

わたしたちは、働く全ての人々を尊重し、いやがらせや差別、児童労働、強制労働など、人権侵害につながる行為は行いません。

■労働と安全衛生

わたしたちは、安心して働ける労働環境、労働条件を維持し、安全で衛生的かつ働き甲斐のある職場環境づくりを行います。

■品質

わたしたちは、製品・サービスの品質と安全性を最優先し、定められた基準や手順を誠実に遵守し、お客様の期待に応えます。

■社内規則の遵守

わたしたちは、コミュニケーション豊かで平等・健全な職場環境を築くために、社内規則の制定趣旨を正しく理解しこれを遵守します。

■交通安全

わたしたちは、自動車部品の生産に携わる者として交通ルールを守り、譲り合いの精神で模範となる安全運転に努めます。

■環境保全

わたしたちは、地球が人類の財産であることを理解し、生産にかかわる資源エネルギーの効率的活用と環境負荷の最小化を図り、地球環境の保全に努めます。

■企業価値の拡大

わたしたちは、企業の存続が価値の創造であると捉えて社会に存在を認められる企業価値の拡大・長期継続的な利益確保に努めます。

■情報の管理と開示

わたしたちは、個人情報や機密情報と開示すべき情報を峻別し適切に管理します。開示すべき情報は法令・社内規則に従い適時適切な開示に努めます。

■公正な取引

わたしたちは、不合理な商習慣には従わず、社会通念を超える利益供与や便宜、政治・行政との不透明な関係や反社会的勢力との関係を否定し、自由・公正・健全な取引を行います。

■コミュニティへの参画

わたしたちは、地域・社会の一員として、生活、文化、教育、福祉向上の為に活動等に積極的に参加し、平等で豊かな社会づくりを目指します。

CSR の考え方

わたしたちは、わたしたちの事業活動が、社会と環境に影響を及ぼすことを十分に理解し、
社是、理念、行動指針のもと、責任をもって行動し、持続可能な社会・環境づくりに貢献してまいります。



エフテックグループで CSR体制の定着を図ります。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響で会議等の招集が困難な中、情報共有に努めました

全社CSR委員会は各委員会と連携しつつ（下図参照）、グループとしての課題の把握や最適な目標を設定し、グループ全体にCSR活動を促すよう努めています。また当社グループのCSR活動の原点である「わたしたちの行動指針」を各海外子会社の言語に翻訳し、配布を行い、グローバルでの統一理解に努めています。また、その解説書であるガイドラインについても同じく各子会社に翻訳版を配布する準備を進めており、グローバルでのCSR活動の周知徹底をさらに図ってまいります。

環境的側面については、国内外の事業所、子会社、関連会社で環境保全活動に取り組んでいます。毎年開催の「世界環境会議」では、各事業所・各社の担当者を招集し、施策の共有や活動状況の確認などを行ってきました。しかし、2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で招集が困難となり、各事業所・各社で作成した報告書を、事務局が中心となり集約し、共有しました。

社会的側面についても、リスク管理委員会によるリスク対策、安全衛生委員会による労働安全についての分析や改善策、コンプライアンス委員会によるストレスチェック、安全品質のために品質総合評価会などの取り組み等、全グループで着実に推進しています。

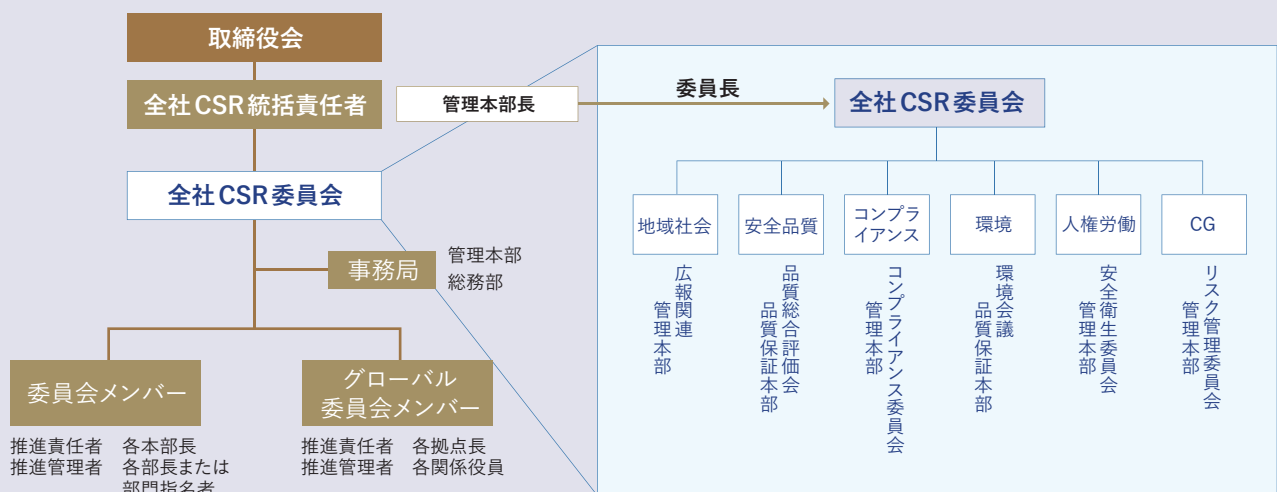
国内関連会社から開始し、 エフテックグループ全体でCSR推進体制を強化する

グローバルでのCSR推進体制を強化するため、本社及び国内関連会社をはじめとし、全社CSR統括責任者を管理本部長とする組織体制の変更を実施しました。それに加え、委員会事務局、各部門からの推進管理者のメンバーも大きく変更し、2020年2月に開催したCSR委員会では、新体制での新たなCSR活動の方向性を確認しました。

全社CSR委員会は、国内各部門の担当役員とそれぞれの部門から選任されたメンバーで構成されており、当社グループの経営、内部統制体制について各社各部門で抽出したテーマに基づき重要課題を選定し、推進管理者が中心となり自律的に改善活動を進めています。

また、海外子会社の月次経営会議には、エフテック役員が参加し、運営体制の管理・監督を行っています。例えばメキシコやインドネシアは、市場の要請に応じて、設備や要員など事業規模が急速に拡大している拠点です。そのため、各地の地域特性も考慮しながら、各社の事業規模に応じて稟議規程等を見直し運営していく必要があると考えています。

■全社CSR体制図



不透明な状況が続く中、 ガバナンスの充実に取り組みます。

コーポレート・ガバナンス体制

当社グループは、株主、取引先、債権者、地域社会、従業員など、多くのステークホルダーを重視する経営をめざしており、会社の持続性と長期的な株主利益の最大化を図ることをコーポレート・ガバナンスの基本目標としています。

当社の取締役会は、取締役5名（うち社外取締役2名）で構成されており、会社の経営上の意思決定機関として、重要な業務執行・法定事項の決定を行うほか、業務執行の監督も行っています。当社は、経営の監督と業務執行機能を分離し、取締役会における意思決定と監督機能を強化、および業務の迅速な執行を図ることを目的として、執行役員制度を導入しています。

また、経営監視を客観的に行うため、独立社外取締役2名を選任し、多角的な視点から意見・提言を受け入れ、経営に活かしています。なお、取締役については、経営環境の変化に機敏に対応できるよう、任期を1年としています。

海外事業に対しては、地域セグメントごとに本社執行役員が海外子会社の取締役会長等に就任し、海外子会社の重要な意思決定に加わるとともに、取締役兼専務執行役員2名を、それぞれグローバルSED統括、グローバル事業管理担当に任命し、海外子会社に対し、SED領域、事業管理領域について管掌する体制としています。

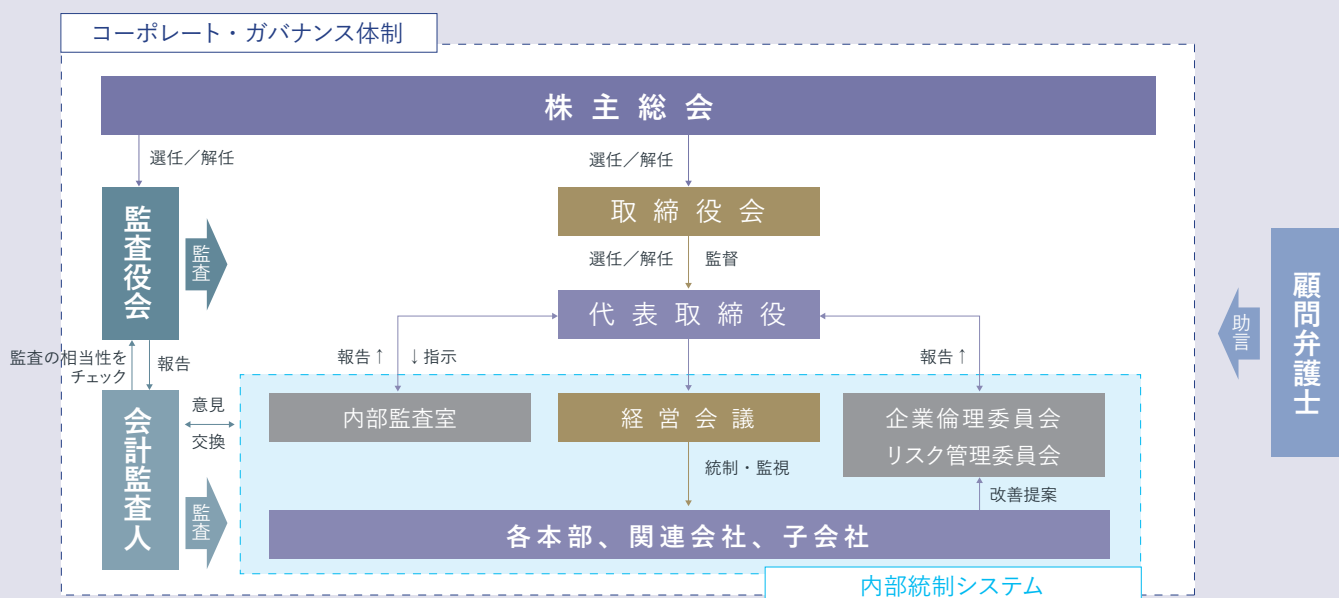
2017年6月の「全社CSR委員会」設置以降は、「リスク管理委員会」「コンプライアンス委員会」の各委員会を年2回以上開催し、年度末には当社グループ会社毎に、「エフテックCSR検証シート」を用い、自己検証を行い、グループ全社のCSR評価、及び課題対応について取締役会に報告し、その監督を受けています。

これら3つの委員会は、当社のコーポレート・ガバナンス、内部統制強化の一環として全社の諸問題を洗い出し、リスク統制のフォロー、リスクの改善、リスク顕在化の未然防止等を当社グループに展開しています。

リスク管理への取り組み

当社グループでは、2006年6月に「リスク管理規程」を定め、各種リスクへの対応及び回避に努めています。2015年9月には各部門長から構成される「リスク管理委員会」を立ち上げ、リスクマネジメントオフィサーを中心に、業務執行に係るリスクを専門的な立場で相互に認識し、全社的リスク管理体制と具体的対応策について検討・確認を行っています。また、2019年12月にはBCP（事業継続計画）ワーキング・グループを発足しました。

なお、大規模災害等の不測の事態が発生した場合は、直ちに社長を本部長とする緊急対策本部を設置し、BCPにしたがって対策方針を決定するとともに、早期復旧・回復にあたります。



コンプライアンスへの取り組み

当社グループでは、2004年10月に「企業倫理委員会」を設置しました。委員会では提案者の保護は当然ながら個別部門では対応できない重要案件について、その対応策を検討し該当部門への改善の指示を行い、常にチェックする体制をとっています。

同年11月には法令および規則等の違反行為を未然に防止することを目的とした「わたしたちの行動指針（企業行動規範）」を、2006年6月に企業倫理の向上・法令遵守を基本に置いた「コンプライアンス規程」を定め、コンプライアンス体制を確立しています。その後「企業倫理改善提案窓口」を設置し、2015年9月には「コンプライアンス委員会」を新たに設置したほか、匿名での受付も可能な「社外提案窓口（顧問弁護士事務所内）」や「監査役・社外取締役提案窓口」を設置し、提案しやすい環境を整え、全従業員へ周知を図っています。

2018年10月には、「わたしたちの行動指針」の見直しを行い、より分かりやすく改訂したガイドラインを2019年4月に発行し、研修やメールマガジン、社内ポータルサイトなどで、常に周知活動を継続しています。



コンプライアンス研修

2019年7月には全海外子会社での、「目安箱」または「通報窓口」の設置有無や、その運用確認を日本で実施、改善しています。コンプライアンス研修については、若手社員向けなど階層別研修を進めるとともに、「わたしたちの行動指針」の各国版ガイドラインを作成、配布しといった周知徹底を図る計画です。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応

新型コロナウイルス感染症については、人事部、総務部、経理部、情報セキュリティ関連部署等の管理部門はじめ、品質、安全、環境、購買各本部で、連携しつつ対策を継続しています。（P36「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応」参照）

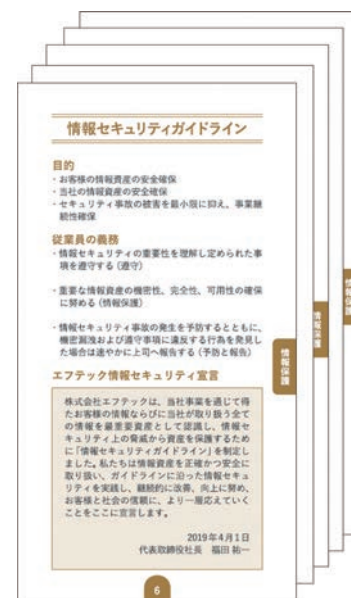
情報セキュリティの取り組み

当社グループでは、2019年4月に「情報セキュリティガイドライン」を全従業員に配布し、周知徹底を図っています。取締役会、その他重要会議の議事録等は、文書帳票管理規程、秘密保持規程、情報システム管理規程に基づき適切に管理・保存を行っています。各契約書等については管理システムに保存・開示後、書庫等への保存や「契約書管理規程」でのルール化を行い、実行を監督しています。

2020年度も、世界的にメールによるサイバー攻撃が増加しており、被害を未然に防ぐためにも、国内従業員に対し「標的型攻撃メール訓練」を実施しました。2018年実施時は開封率3%であったのに対し、2020年度は1%という結果となり、セキュリティ意識向上がうかがえる結果となりました。加えて、日々変化する企業のサイバーセキュリティの課題に対処すべく、関連する規程、マニュアル等の整備とともに、社員教育、訓練等を徹底していく計画です。

また、ステークホルダーへの情報開示については、東証開示基準に基づき東証および弁護士等へ随時確認をしながら適時開示を実施しています。

今後は、情報管理に関連する法改正を踏まえて情報管理体制の改善を実施し、引き続き適切な開示体制を整備してまいります。



人間尊重の考え方のもと、 健全で働きやすい環境をめざします。

ダイバーシティの取り組み

女性従業員の活躍推進

エフテックでは、男女を問わず全ての人が個性と能力を発揮できる職場をめざしています。特に作業の性格上、男性が中心だった製造・エンジニアリング・開発・購買部門では、作業環境が大きく改善され、女性の配置が積極的に進められるなど、全社的にも様々な分野で女性が働けるようになりました。十数年前までは重量のある鉄板を扱うような製造現場では、女性が働くことはありませんでしたが、現在はサポート器具により、女性が働くことも可能となっており、女性技術者への期待も大きくなっています。

今後は女性活躍推進法に基づき、あらゆる分野での女性の進出拡大をめざし、採用・登用及び指導者の育成の取り組みを進めていきます。一方、女性の活躍には男性の働き方も見直す必要があります。今後、仕事とプライベートのバランスが図られ、男女ともに充実した社会生活を送ることができるよう環境整備に取り組めます。



高年齢層（シニア世代）の活躍推進

60歳の定年を迎える従業員を対象に、定年後も継続して働ける環境を提供するとともに、年齢に応じてライフプランセミナーなどの情報提供も行っています。また、2019年7月からは、定年再雇用者の新たな働き方として、モチベーション向上と技術継承を目的とした「匠制度」を始めました。これは、高度な技術を持つ熟練者を「匠」(たくみ)として認定し、後継者へ技術を伝承する指導者として重要な役割を担って頂く制度であり、責任に応じた報酬制度としています。(2021年7月時点17名)

匠制度該当者・定年再雇用者人数

- ・嘱託従業員全体 46名 (2021年7月時点)
- うち匠制度該当者 17名

外国人従業員の強化とグループ内活性化

エフテックでは、海外拠点との連携強化が不可欠であり、そのためには多様な人材の確保が必要です。積極的に外国人を採用した結果、現在では様々な国籍の従業員が活躍しています。

また、海外拠点からの短期研修生や外国人技能実習生の受入れ等も推進しています。なお、外国人従業員の業務理解のために、掲示物やマニュアルを多言語化、社内イベントでの交流など、外国人でも働きやすい環境作りに努めています。

さらに、イスラム教徒の方のために、礼拝用の部屋を配置するなど習慣の違いへの配慮も行っています。



フィリピン実習生との集合写真

障害者の活躍推進

エフテックでは、障害者雇用に積極的に取り組んでいます。また、障害の有無に関わらず個人の能力を最大限に発揮し、やりがいを持って働くことができる環境の整備にも取り組んでいます。

現在、法定を上回る雇用を継続しており、2020年度は法定雇用率2.3% (22人) に対し2.4% (23人) となっています。

ワークライフバランスの取り組み

エフテックでは、人間尊重の理念のもと、生きがいを
持って働くためには、充実したプライベートも必要である
と考え、ワークライフバランスを重視しています。また、育
児・介護対象者だけでなく、すべての従業員が「働きや
すい会社」を全グループでめざしています。以下にワーク
ライフバランスをめざす取り組み事例をご紹介します。

長時間労働の削減、 年次有給休暇の取得促進

- ・残業時間は月20時間以内を基本に、労使協力して時
間を管理し、長時間労働の抑制に取り組んでいます。
一般従業員の時間外労働時間は、2019年度月平均11
時間に対し、2020年度は5.9時間で、管理職も就業時
間管理を行い、長時間労働の削減に努めています。
- ・時効で消滅する年次有給休暇を全従業員「0」とする目
標を掲げ、一般従業員は目標を22年連続達成してい
ます。
- ・2019年度から半日有給休暇制度を個人の状況（育児・
学校行事・介護・通院等）に合わせ柔軟に対応できる
ように年4回⇒年20回取得可能へ見直す就業規則の
改訂を行いました。
- ・これまで開発部門・営業部門でフレックスタイム制度を
導入していましたが、2020年8月よりその他本社部門
でも、導入を開始しました。従業員の仕事と生活の調
和を図ることが可能になるため、今まで以上に効率的
に働くことができます。一方、部門でのコミュニケーションが一部とりにくくなることから、より良い制度となるよう
従業員の意見をもとに改善を図っています。
- ・2020年2月に埼玉県より「多様な働き方実践企業」とし
て、ゴールドプラス認定を取得しました。これまで、
ゴールド認定を取得していましたが、更に男性の働き
方を見直す取組み（男性育休数等）が評価され、「プラ
ス評価」を受けました。



育児・介護両立支援

育児や介護を抱える従業員が安心して働ける職場環境
づくりをめざし、2018年度から管理職を対象に「仕事と
育児・介護の両立支援制度説明会」を実施するとともに、
全従業員に向けて「仕事と育児・介護の両立支援ガイド
ブック」や育児・介護に関する情報を、社内ポータルサ
イトで発信しています。

2016～2020年度の女性の育休取得者は33名で、復
帰者（見込者含む）は32名です（育休取得率100%、
復帰率97%）。男性の育休取得者も増えつつあり、2015
年度以降9名が取得しています（うち2020年度1名）。

また育休期間中のサポートを充実させるため、産休前
と産休明けの前に本人と、上司や管理担当者と面談を
実施したり、育児休業中も定期的に連絡をとり、情報共
有を行っています。職場復帰後に育児のための短時間勤
務制度を利用することも可能です（現在14名が利用中。
／小学校3年生修了時まで可能）。介護休業は、対象家
族1人につき通算1年までの範囲内で3回を上限に取得
が可能です。介護休業期間中も、育児休業と同様に面
談制度、休職中の定期連絡を実施しています。

今後も、全ての従業員が仕事と家庭を両立し、イキイ
キと長く働ける環境づくりを推進していきます。

人権啓発のための取り組み

当社の理念である「人間尊重」の観点から、従業員
が人間を尊重し、児童労働、強制労働を含む各ハラス
メント等の発生を防止するため、毎年従業員に研修を実
施し、遵守状況を確認しています。

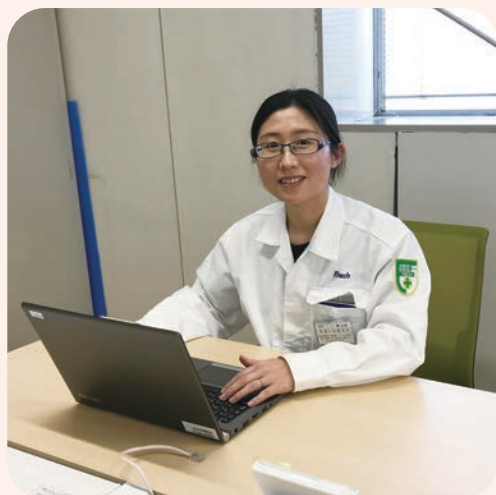
また、人権侵害やコンプライアンス上の問題が発生し
たと思われる場合に匿名で相談できる通報窓口を社内外
に設け、相談しやすい雰囲気、風通しの良い職場づくりに
努めています。



異文化の中でも 安心して育児と仕事を 両立できています。

購買本部購買部

鄭 全嬌



私は2018年4月に入社し、現在購買部に所属しています。入社2年目で、妊娠が分かり不安もありましたが、上司や職場の先輩方から温かい配慮を頂き、安心して仕事を続けることができました。育児休業を1年3ヶ月取得し、2021年4月に職場復帰しました。

育休中は、上司との定期連絡で会社の状況がわかり、疎外感も感じる事が無く、安心して復帰できました。また、自分の子育ての近況を報告し、良好なコミュニケーションを築くこともできました。おかげで休業中は育児に専念でき子供と一緒にいる時間をたっぷり楽しむことができました。

夫婦共に中国出身のため、日本での出産・子育て環境の違いに戸惑うことが多くありました。しかし子育て経験のある先輩方からのアドバイスや、家族の協力で、現在子供も楽しく保育園へ通っています。中国では、夫婦共働きの場合は祖父母が子供の面倒を見るという慣習であり、日本の保育園のように3歳前に預けられる場所がありません。また、中国の産休・育休は3ヶ月前後と期間が短く、日本では子供が1歳になるまで育休が取れるので助かりました。

復帰後は、購買部で新たな業務にも挑戦することとなりましたが、短時間勤務制度を利用し、仕事と育児を両立できています。購買本部の材料担当としてコスト意識を持って、これまで以上に頑張りたいと思います。

私は、久喜事業所生産管理課に所属し、物流改善の業務を主に担当しています。妻も本社勤務で育児休業を取得し、2021年4月末に職場復帰しました。

長女が生まれ、初の子育ては、何をすることもわからないことばかりでしたが、職場の仲間にも気軽に相談できる環境があり、日々、子育てに奮闘しています。

私の家庭では、夫婦ともに両親が遠方に在住しており、家族の協力が得られにくい環境にあります。そのため、妻だけに大きな負担をかけてしまうことの無いよう、私も仕事と育児のバランスをしっかり持つよう意識しています。

当社では、以前から長時間労働の削減や年次有給休暇の繰越分完全消化が定着しているため、ワークライフバランスを保てる環境にあります。私も定時で退社し、妻と協力して育児に取り組む時間を増やすように努めています。

育児休業期間中には、WEBシステムを活用し、上司との復職前面談を行うなど、不安解消のための配慮もいただき、妻からスムーズに職場復帰をすることができたと聞いています。

充実した制度があったとしても、職場に受け入れてもらえる風土がなければ活用できません。当社にはその風土が過去より醸成されているため、私たちのように両親の協力を得にくい環境であっても共働きで子育てを行うことができます。

これからも仕事も育児もしっかり取り組み、充実した人生を送りたいと思います。

“子育てを応援する” 職場の風土が醸成 されています。

久喜事業所 生産管理課

飯野 貴史



安全衛生ルールグローバル共通・共有を推進しています。

エフテック*およびFEGでは、2020年度も引き続き、全社安全方針を「安全衛生ルールのグローバル共通化・共有化を行い、全拠点の安全レベル向上を目指す。」と定め、2018年度から当社グループ全体での労働安全衛生活動の強化を行いました。

エフテック*およびFEGの委員で組織されている全社安全委員会では、前回委員会開催時に指摘のあった項目に対する各拠点の改善状況の確認や、改正政省令への対応など活発な意見交換がなされました。また、従来通り「統一した安全評価・ルールの策定（定常作業/非定常作業）」を設定しました。「休業災害0件」「休業災害の防止」の他、通勤災害、交通事故等、業務外の事故等の件数を減らす活動も行っています。

2021年度も前年度に続き、全社安全方針のもと、「禁じ手集・ワンポイントレッスンの策定運用、リスクマネジメントの運用」を引き続き重点施策に設定し、さらなる活動を展開していきます。

*本社・久喜事業所、亀山事業所、芳賀テクニカルセンターおよび設備センター

化学物質管理のための仕組みの構築に努めます

全ての事業所で、既存の作業に対する化学物質リスクアセスメントに取り組み、引き続き化学物質による業務災害の未然防止に努めていきます。

〈芳賀テクニカルセンター取り組み事例〉

安全データシート(SDS)記載 GHS表示について																									
・表示種類 ・環境保護管理薬剤GHS表示一覧 <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th><th>GHS 絵表示</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>硝酸1.38</td><td></td></tr> <tr> <td>水酸化ナトリウム(固)</td><td></td></tr> <tr> <td>水酸化ナトリウム(N/10)</td><td></td></tr> <tr> <td>クエン酸水素2アンモニウム</td><td></td></tr> <tr> <td>塩化ナトリウム</td><td></td></tr> <tr> <td>エタノール(99.5)</td><td></td></tr> <tr> <td>アセトン</td><td></td></tr> <tr> <td>ハイポナミックチェックブライマー塗料</td><td></td></tr> <tr> <td>ハイポナミックチェックブライマー 硬化剤</td><td></td></tr> <tr> <td>ネオリバー#100</td><td></td></tr> <tr> <td>ネオリバー#546</td><td></td></tr> </tbody> </table>	薬剤名	GHS 絵表示	硝酸1.38		水酸化ナトリウム(固)		水酸化ナトリウム(N/10)		クエン酸水素2アンモニウム		塩化ナトリウム		エタノール(99.5)		アセトン		ハイポナミックチェックブライマー塗料		ハイポナミックチェックブライマー 硬化剤		ネオリバー#100		ネオリバー#546		
薬剤名	GHS 絵表示																								
硝酸1.38																									
水酸化ナトリウム(固)																									
水酸化ナトリウム(N/10)																									
クエン酸水素2アンモニウム																									
塩化ナトリウム																									
エタノール(99.5)																									
アセトン																									
ハイポナミックチェックブライマー塗料																									
ハイポナミックチェックブライマー 硬化剤																									
ネオリバー#100																									
ネオリバー#546																									

図：GHS絵表示*について、ワンポイントを作成

*GHS絵表示：化学品の危険有害性を世界的基準で、絵表示を用いて分かりやすく表示したもの

新たな健康障害防止措置義務化への対応を推進します

厚生労働省は、金属アーク溶接等作業における「溶接ヒューム」について、労働者に健康障害を及ぼすおそれがあることから、労働安全衛生法施行令、特定化学物質障害予防規則（特化則）等を改正、制定し、健康障害防止措置を義務付けました。

この改正政省令の告示は、2021年4月1日*から施行、適用されています。

*換気風量の増加、保護具の選択・使用、特定化学物質作業主任者の選任等は2022年4月1日施行、フィットテストの実施については2023年4月1日施行



「特定化学物質としての規制」は次のとおりです。

- ① 全体換気装置による換気等
- ② 溶接ヒュームの測定、その結果に基づく呼吸用保護具の使用及びフィットテストの実施
- ③ 掃除等の実施
- ④ 特定化学物質作業主任者の選任
- ⑤ 特殊健康診断の実施等
- ⑥ その他必要な措置

項目により施行日が定められていますので、遅滞なく対応すべく溶接ヒュームの濃度測定（個人曝露測定）や特殊健康診断等について、順次対応を進めています。

「禁じ手」を守って安全文化の醸成に努めます

職場の安全衛生、安心して働ける職場をつくり、これらを維持するうえで重要なことは、作業手順、適切な保護具の着用、職場における5Sなどの基本的なルールを守ることです。

過去に起きたトラブルに基づき「二度と同じことを起こさない」との強い決意から、これらのルールが作られ継続して改善されています。

このルールを「禁じ手」として蓄積し、今後、教育資料等に活用し、従業員に引き継いでいきます。

これによって、ルールを遵守する意識・姿勢を定着化し、安全文化の醸成に努めています。



品質保証の取り組み

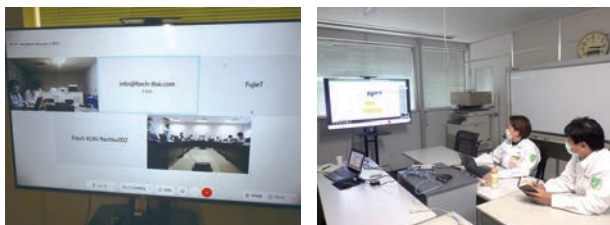
グループ各拠点で、
顧客満足レベル向上を推進します。

14次中期（2022年度）最終目標へ 品質向上を加速

14次中期計画活動の初年度となる2020年度から、＜最高の価値（品質）を提供し、お客様の満足度を最大化する＞をグループ品質方針に掲げて活動しました。その結果、品質指標として設定した「登録件数（不良指数）」、「工程内廃却率（PPM）」、「廃却仕損費」の全てにおいて改善が進み、グループ全体で品質パフォーマンスが向上しています。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大によって、グループ各社で過去に経験の無い変化点（生産調整、人員変化等）の対応に力を割かれました。特に“密”を避けるための人員調整の影響は大きく、これによってグループ間で当初予定していた重点品質施策の取り組みが一部遅れました。今年度は、2022年度が最終目標達成に向けた体制整備を完了させる年となるため、昨年度に取り組みが遅れている項目は早期挽回の計画を立て、改善取り組みを更に加速させていきます。

地域別 Q-MTG (Region Q-MTG) の拡大

これまで、国内外製造拠点における品質担当の代表者が集い、品質向上について議論する場として、「世界品質合同会議」を毎年開催してきました。しかし、拠点数の増加、地域毎の品質レベルや課題の差異などテーマが多様かつ具体的になってきたため、そこで、2020年度から、いっそうスピーディーな取り組みを目指して「地域別 Q-MTG (Region Q-MTG)」の開催に切り替えました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による国内外の移動制限がある中、Webツールを用いた地域別 Q-MTGをグループ全体で浸透させ、各地域/製造拠点の現状把握・意見交換を通して、品質パフォーマンスの向上に努めました。



Web会議システムを用いた地域毎 Q-MTG

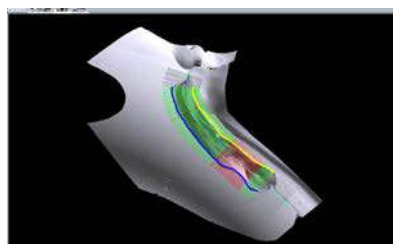
【14次中期】品質方針・目標			
FtechGr品質方針			
最高の価値（品質）を提供し、 お客様の満足度を最大化する			
FtechGr品質目標			
管理指標	ゼロ チャレンジ拠点	安定化推進 拠点	改善強化 拠点
品質登録不良件数 FY2022	ゼロ	5件/年	12件/年
Grで“品質の高位安定化”を達成する為に、3ヶ年目標は拠点別にグループ分けをおこない設定します。			
重点取り組み施策			
1. 新機種立上げ品質システムの充実化・浸透 2. 品質/現場技術エキスパートの育成、適正配置 3. 変化点/異常品処置等のイレギュラー対応強化			

14次中期 グループ品質方針・目標

ITツールを用いた品質管理・ 保証手法の進化

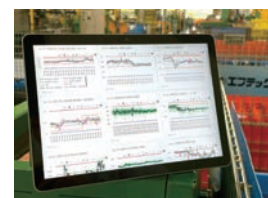
当社では、既存の手法から、いっそうムリ・ムダ・ムラを改善するべくIT技術の活用を強化し、品質管理・保証手法の進化に取り組んでいます。

一例として、現場での溶接できち確認は個々の検査員に頼った合否判定から、ITツール（溶接評価・検査システム）を用いた判定へ移行を進めており、複雑な板組構造の評価等においてもヒューマンエラーやバラツキの無い仕組みへの進化を進めています。また、日々の品質・設備点検においても、今までは紙面を用いた実績管理が中心でしたが、電子ツール（端末）を用いた運用システムに移行を進めており、実績確認のタイムリーな履行とともに、傾向管理も容易となるなど、変化点に一段とスピーディーに対応できるよう進化に取り組んでいます。



溶接ビード評価・
解析システム
(自動検査)

日々の品質・
設備条件管理のIT化



適時・適切な情報開示で経営の透明性を高めるとともに 持続的な成長をめざします。

当社では「株主との建設的な対話に関する方針」をエフテックコーポレートガバナンス・ガイドラインに定め、適時・適切な情報開示につとめています。

適切な情報開示

(エフテックコーポレートガバナンス・ガイドライン 第14条)

当社は、株主を含む全てのステークホルダーからの信頼関係の構築に努め、情報開示は、法定開示のみにとどまらず、経営方針や財務状況、事業の取り組みなどの情報、経営陣幹部の選解任及び取締役・監査役候補の指名を行う際の、個々の選解任・指名の理由等を公正かつ分かりやすく開示し、経営の透明性を確保しています。

株主との建設的な対話

(エフテックコーポレートガバナンス・ガイドライン 第34条第1項)

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るためには株主との建設的な対話が不可欠であるとの認識のもと、双方向の対話の充実に努めています。

【株主との建設的な対話に関する方針】

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のためには株主との建設的な対話が不可欠であることを認識し、対話に当たっては以下の方針で臨むものとしています。

1. 株主との対話は合理的な範囲で代表取締役社長、IR担当役員等、経営陣またはIR担当部門の管理職が行うものとします。
2. IR担当部門は、社内関係部門と連携体制を構築し、建設的な対話を実現します。
3. 中期経営計画における戦略、投資、当社の重要指標などについて株主に分かりやすく説明を行い、中長期的な企業価値を判断するための情報開示に努めます。
4. IR担当部門は、個別面談に加え、決算説明会や施設見学会の開催、IRフェアへの参加などIR活動の多様化を図ります。
5. IR担当役員は、対話により自社の方針などを株主に丁寧に伝え、株主から意見を頂いた場合は、取締役等に伝達し共有します。
6. IR担当役員は、公平な情報開示を徹底するため、社内規程に基づき、未開示の重要情報の管理を徹底します。

株主、個人投資家、機関投資家の皆様とのコミュニケーション

当社は株主、個人投資家、国内外の機関投資家の皆様へ適時・適切な情報開示につとめています。

当社への理解をより一層深めて頂くために、株主総会、決算説明会、個人投資家向け会社説明会、施設見学会、1on1ミーティング、電話会議、さらには各種イベントへの出展等、さまざまなコミュニケーションを図る機会を設けています。今後とも多くの皆様に当社グループのファンになって頂けるよう努力してまいります。



2020年6月株主総会



2020年11月決算説明会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、5月の決算説明会は中止になりましたが、11月の第2四半期決算説明会は、感染拡大防止対策を徹底し開催いたしました。また投資家の皆さまとの対話については、感染拡大防止の観点から電話会議・WEB会議にて行いました。

コロナ禍だからこそ、
地域社会との結びつきを強めていきます。

コロナ禍に生じた新たな社会貢献活動

新型コロナウイルス感染症防止にむけた支援活動について

2020年7月、地域社会の一員として、当社では、少しでも感染者を減らし、できるだけ早期に安心して生活ができる社会に戻ってほしいとの思いから、自治体や福祉団体に洗って使えるウレタンマスクを3万3千枚寄贈致しました。



主なマスク配布先(敬称略)

埼玉県久喜市役所 埼玉県庁 埼玉県加須市役所
三重県亀山市役所 三重県亀山市商工会議所
栃木県芳賀町社会福祉協議会
など

コロナ禍における工場見学の受け入れ

地域社会、特に近隣小学校からの工場見학을、エフテックでは積極的に受け入れてきました。エフテックがどのような製品を、どのような手順で製造しているのかを学んでいただき、より自動車に興味をもっていただきたい思いからです。それに加え、実際の工場で感じた“躍動感”やエフテック従業員の対応を、地域を支えていただいている人々に、最も率直に話していただけるのも子供たちだと思っているからです。

2020年度は、どの企業もコロナ禍を理由として、工場見学を中止しました。しかし、長年継続して地域の小学生に、我々の製品や、製造工程の説明を行い、様々な質問に答え理解していただくことにより、自動車部品、ひいては自動車への好奇心を将来にわたり培って欲しい思いから、亀山事業所及び九州エフテックにおいて、工場見学の受け入れを決めました。

勿論、工場見学を受け入れるからには、絶対にコロナ感染者を出してはいけません。そのため、事前説明や質疑応答を受ける室内の机や椅子はもとより、子供たちが触るであろうと想定される場所のアルコール消毒を、各々の工場の従業員総力戦で行い、見学工程においても細心の注意を払いつつ、子供たちに楽しんでいただきました。

子供たちは目を輝かせて様々な質問を投げかけてくれ、工場見学後には、引率された先生方からだけではなく、子供たち全員からも「大変な時期にも関わらず、有難うございました。」とお礼の言葉をいただき、本当の意味での“地域社会との交流”を図ることができました。

その他2020年度に実施した国内事業所の社会貢献活動



久喜市
備前堀川清掃活動
延べ143名参加



芳賀町
工業団地クリーン作戦
延べ56名参加



亀山市
アダプトプログラム
延べ124名参加

中止となった国内事業所の社会貢献活動

- ・エフテックの森林づくり
- ・久喜菖蒲工業団地ゴミゼロ・クリーン運動

自動車のライフサイクル全体を意識した 環境負荷低減に取り組みます。

環境に対する基本的な考え方

エフテックは自動車の足廻り部品の製造業として、設計・開発から製造、販売までを自社の一貫加工体制の中で安全性に配慮し、長年技術を培ってきました。

今日では、低燃費自動車をはじめ、電気自動車やハイブリッド車など重いバッテリー等を搭載した自動車の販売が主流になりつつあります。各自動車メーカーから「期待される企業」として選り続けられるためには、自動車の低燃費性能に寄与し、安全で環境に配慮した軽量の製品を、

いかに量産対応できるかが課題であり、当社はその市場のニーズに応えてまいりました。

自動車は、各部品メーカーが研究開発から調達、生産、自動車メーカーへ輸送、組立され、完成しています。その後、車として使用し、廃棄に至るまで多量の環境資源を必要とします。当社は、こうした自動車のライフサイクルの中に、自らの事業活動があることを自覚し、すべての事業活動において環境負荷低減へ積極的に取り組むことが、持続可能な社会の実現に貢献すると考えています。

エフテック環境理念

当社は、自動車産業の環境トップランナーを目指し、従業員一人一人が地球環境問題に対する正しい認識を深め、企業活動の全域において継続的な環境保全活動を積極的に励行することにより、低炭素で自然豊かな未来を築く事に全力を尽くします。

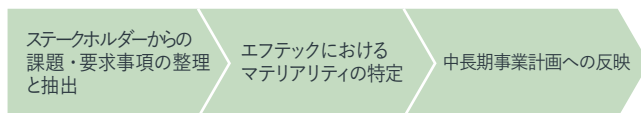
エフテック基本方針

- (1) 持続可能な社会を形成するために当社の足廻り自動車部品の製造に関わる全ての事業活動において環境負荷低減と生物多様性の保全に関して取り組みます。
 - ・製品のライフサイクル全体で環境負荷低減に取り組みます。
 - ・開発領域では製品の軽量化によって走行時のCO₂を削減します。
 - ・全ての事業活動において省資源、省エネルギーを実施します。
 - ・全ての事業活動において廃却物のゼロエミッションを継続します。
 - ・生物多様性の保全へと繋がる社会貢献活動に取り組みます。
- (2) 環境・エネルギーに関する法令、及びそのほか同意する要求事項を遵守します。
- (3) 環境・エネルギーマネジメントシステムの継続的改善と汚染の予防に努めます。
- (4) 環境・エネルギー目標を設置し、定期的に見直しを行います。
- (5) 環境・エネルギー目標達成するための情報並びに必要な資源を利用できることを確実にします。
- (6) 省エネルギー活動及び環境保全活動を通じて環境意識の高い人づくりを行います。
- (7) エネルギー効率の良い製品、設備の導入やサービスの活用に努めます。
- (8) 事業活動に関する環境情報は適切に開示します。

環境領域における重要課題マップ

エフテックでは、環境への取り組みについて、顧客や地域社会等のステークホルダーからの要請や期待を考慮して重要課題を抽出しました。抽出した重要課題については、当社の事業における重要性和現在の取り組み水準を照らし合わせ、マテリアリティを特定し、中長期事業計画に反映しています。

重要課題特定のプロセス



重要課題マップ

大

ステークホルダーからの要請や期待

- ・生物多様性の保全
- ・化学物質管理
- ・サプライヤーとの提携やバリューチェーン全体の環境負荷物質管理の強化
- ・社会貢献活動

- ・環境マネジメントシステムによる体制構築と強化
- ・各種主要取引先へのデータ提供

- ・CO₂排出削減
- ・自動車の軽量化への貢献と安全性と環境に配慮した製品開発
- ・省資源・水や廃棄物の削減

- ・大気・水・土壌等の環境保全・環境法規・環境基準の遵守
- ・環境人材・省エネ人材の育成
- ・エネルギーマネジメントシステム(ISO50001)のグループ展開

当社の事業における重要性

大

環境重要課題

エフテックでは、持続可能な社会の実現にむけて「CO₂排出削減」「大気・水・土壌等の環境保全」「省資源・水や廃棄物削減」「化学物質管理」「環境に配慮した製品開発」「生物多様性の保全」を重要な環境課題として捉え、環境負荷低減に取り組んでいます。

中でも「CO₂排出削減」「水資源の削減」「廃棄物の削減」については、2017年に「2030年グローバル環境目標」として定量的な目標を設定しましたが、2020年に2030年の目標を見直しました。ここ数年で各拠点における生産状況、生産設備の変化、新工場の建設など様々な変化点があり、基準としていた2013年と現在では、状況が大きく異なったためです。そこで、基準年を2017年に変更し、削減のボリュームを2013年度基準と同等にした見直しを行い削減目標値に設定しました。

2030年グローバル環境目標

- | | |
|------------------------|--------|
| ■CO ₂ 排出原単位 | ▲18%改善 |
| 基準年:2017年度比 | 指標:売上高 |
| ■水使用原単位 | ▲14%改善 |
| 基準年:2017年度比 | 指標:売上高 |
| ■廃棄物原単位 | ▲13%改善 |
| 基準年:2017年度比 | 指標:売上高 |

※CO₂排出 対象:工場内で使用されたエネルギー
対象外:物流、社用車、溶接CO₂ガス

※温室効果ガス排出、水資源使用と整合性を高くするため、売上高にはグループ間取引分を含めています。

ISO50001のグループ展開を核に マネジメント体制の充実を図ります。

オールエフテック環境マネジメント体制

当社グループでは事業活動が環境に及ぼす影響を最小限に抑えるため、環境に関する国際規格であるISO14001の認証を進めております。国内拠点では1998年からISO14001の認証取得に向けて取り組みを開始し、開発・生産拠点の認証取得が完了しています。海外拠点では全生産拠点の認証取得を目指し、直近では2012年に設立したメキシコの生産拠点が2017年5月に認証登録が完了しています。未取得の拠点(FEGQ、FTI)は中長期計画を立て、認証取得を進めてまいります。

また当社グループでは、2008年に環境グローバル展開がスタートして以降、2013年にエネルギーの国際規格であるISO50001の認証取得を皮切りに2015年からグループ共通のGlobal F-tech Energy Management Systemを発行し、海外拠点に対してISO50001の展開を進めています。

組織体制

当社グループでは、2008年の環境グローバル展開と併せて、日本を主導とする環境管理体制を構築しました。海外拠点の拠点長を責任者として拠点毎に実務担当者を設置し、環境組織体制を整備しています。(下図参照)

環境法令の遵守状況

当社グループの環境理念のもと、ISO14001の環境マネジメントシステムを活用して、各国や地域の規制、利害関係者の要求事項の遵守に努めています。なお、環境

関連の重大な法令違反や罰金等の支払い、重大な事故の発生はありません。

省エネコア人材の育成

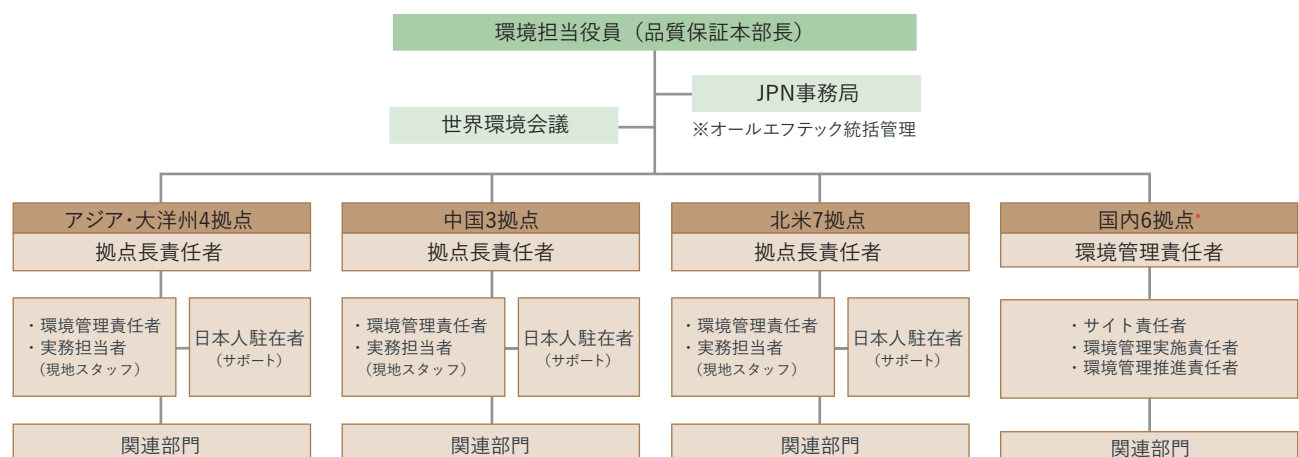
当社グループではISO50001の推進に欠かせないエネルギー診断ができる人材を「省エネコア人材」として、育成に取り組んでいます。エネルギー診断者には、設備や省エネの知識を基に診断や分析を実施できる高い専門性が求められるため、その核となる人材を育成していく事が急務です。2020年度では、国内外の「省エネコア人材」の育成対象者に対して、省エネ知識の育成のため模擬工場データを配信し、提案力の向上と解決策に向けた課題に取り組む人材育成を図りました。

内部環境監査

当社の環境グローバル展開においては、ベースとなる日本拠点の環境マネジメントシステムおよびエネルギーマネジメントシステムが、システムや規格との適合性を確保する事が重要であることから、内部環境監査を定期的の実施しています。

当社では有効な監査を行うために、内部環境監査員講習を定期的で開催し、監査員の拡大に努めています。また、さまざまな部門の監査員が携わることで、公平性の高い監査を実施しています。2020年度の内部環境監査では、コロナ禍の感染拡大防止を目的に最小限の人数で監査を実施したため、対応した人数が昨年度比で10名減員の15名となりました。

■エフテックグループ環境管理体制



* 国内6拠点については国内子会社を含みます。

グループ全体で「環境トップランナー」へ

コロナ禍の影響を受け、一部計画を見直しました。

第14次中期計画(環境領域)の進捗状況

2020年度は、第14次中期計画の初年度であり、2030年目標達成に向けた重要な年となります。2020年度は、コロナ禍の影響を大きく受けて中期計画の一部を見直す必要がでてきました。特にISO50001グループ展開については、未導入の海外拠点に対し直接的な支援を行う計画でしたが、コロナ禍の収束まで計画を見送ることとしました。

また、環境指標の原単位目標に関しては、コロナ禍による一部拠点のシャットダウンや拠点の生産減少、また半導体不足による生産調整の影響を大きく受けました。

現在、日本国内から対応できる事項として、中期計画期間において、拠点ごとに設備管理台帳の整備を開始しています。そして、その設備管理台帳の精度を上げるとともに、設備の省エネ提案を実施していきます。

環境指標についてはP23をご参照ください。

主要計画の見直し事項

「ISO50001海外展開」に関しては、2016年から海外拠点への支援を開始し、2020年度末では、FPA、FTZ、FTW、FMTLの4つの生産拠点が導入を終え、残る7拠点の導入を計画しておりました。次期中期計画時に再開を検討しております。

「全生産拠点での環境報告書の社外公表」については、コロナ禍の影響を受け、拠点のシャットダウンなどにより社外発行まで準備できていない拠点も多く、計画を1年延期しました。

*ISO50001のグループ展開

当社は、2013年10月に三重県亀山事業所で、エネルギーマネジメントシステムISO50001認証を国内自動車部品専門メーカーとして初めて取得しました。2015年には亀山事業所での取組みを進化させ当社グループ共通のエネルギーマネジメントシステム「Global Ftech Energy Management System」を発行しました。これは、ISO50001の要求事項を全て網羅し、さらに当社独自のノウハウを追加して策定したもので、これをグループで共有し、全ての生産拠点への水平展開を推進しています。

環境領域 14次中期計画(2020～2022) 初年度結果(主要計画)

対象：エフテックグループ(国内6拠点、海外14拠点)

領域	展開内容	時期			
			2020	2021	2022
生産	温室効果ガス排出原単位の低減	計画	[4.2%改善(17年比)]	[5.6%改善(17年比)]	[7.0%改善(17年比)]
		実績⇒評価	13.9%改善⇒○		
	水質源使用原単位の低減	計画	[3.3%改善(17年比)]	[4.4%改善(17年比)]	[5.5%改善(17年比)]
		実績⇒評価	11.7%悪化⇒×		
	廃棄物排出原単位の低減	計画	[3%改善(17年比)]	[4%改善(17年比)]	[5%改善(17年比)]
		実績⇒評価	9.9%改善⇒○		
マネジメント／企業活動	ISO50001 グループ展開	計画	【設備管理台帳の整備 / 台帳に基づく省エネ提案】		
		実績⇒評価	台帳作成完了⇒○		
	グローバル環境管理システムの構築／運用	計画	[着手]	[構築完了]	[運用]
		実績⇒評価	マニュアル整備完了⇒○		
	生物多様性の取り組み強化	計画	[新ガイドライン運用開始]	[参加人数強化(20%以上)]	[参加人数強化(25%以上)]
		実績⇒評価	企画立案完了⇒○		

○：目標達成、×：目標未達成

※「開発／エンジニアリング」の目標については機密情報の観点から公表を控えています。

エフテック国内事業所環境・エネルギー計画

2020年度 環境・エネルギー計画(国内)の進捗状況

2020年度は多くの管理項目において目標を達成することができました。

CO₂排出量の低減に関しては、昨年比総量で約11%減らす事ができましたが、CO₂排出原単位の評価では目標が達成できませんでした。主な要因は、コロナ禍や半導体不足の影響で、大幅に生産数が減少、その結果、エネルギー使用効率が低下したことによるものです。また、新型コロナウイルス感染症防止のため、常時換気を実施したことによって空調効率が大きく低下しました。

主要な取り組みである「ISO50001海外展開」に関して

は、第13次中期計画から継続して進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見えないことから、海外拠点へ出向き直接支援することは控え、国内拠点を優先し準備をすすめました。

また2020年度からグローバル環境管理システムの構築に向けて仕組みづくりに取り組んでいます。

グループ全体の原単位改善に繋がるこれらの施策の推進を、確実に目標が達成できるように取り組んでまいります。

2020年度 環境・エネルギー計画の結果

対象：エフテック国内3事業所(久喜・亀山・芳賀事業所)

管理項目	目標	管理水準	実績(通期見込み)	評価
CO ₂ 排出量の低減	CO ₂ 排出原単位	全領域(久喜・亀山・芳賀) 2019年度比 1%改善 99Point	110.1Point 10.1%悪化	×
	施策によるCO ₂ の削減	施策削減量(久喜・亀山・芳賀) 104.3t-CO ₂ 以上	394t-CO ₂	○
マネジメント ／企業活動	ISO50001 海外展開	北米・ア大 ISO50001 展開 対象：FPMI、FPG 展開着手	直接支援SV計画見直し 設備管理台帳の整備 完了	○
	グローバル環境管理 システムの構築/運用	環境管理システムの検討	システムの検討完了 2021年 システム構築展開	○
マネジメント ／企業活動	地域社会への貢献活動	参加率25%以上/ 各サイト正規従業員 (延べ人数)：206人	参加人数 325人	○

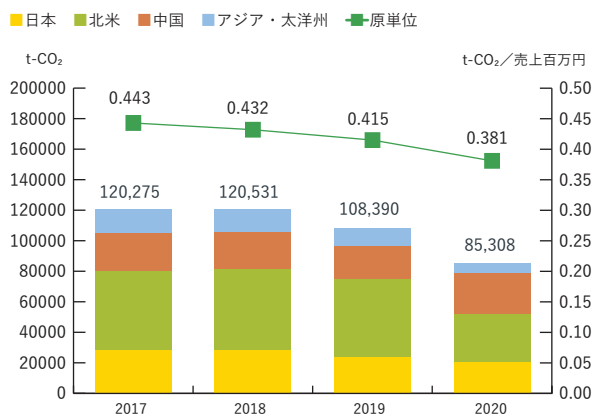
○：目標達成、×：目標未達成

※「開発/エンジニアリング」の目標については機密情報の観点から公表を控えています。

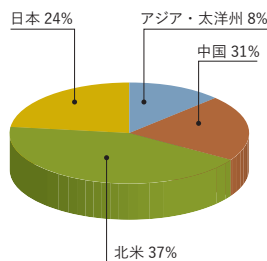
CO₂排出量・水資源使用量・廃棄物排出量削減の取り組み

グループ全体でのデータ精度向上に努めます。

CO₂排出量の実績 目標<2017年度比CO₂排出原単位4.2%削減>→実績<同13.9%削減>と目標を達成しました。



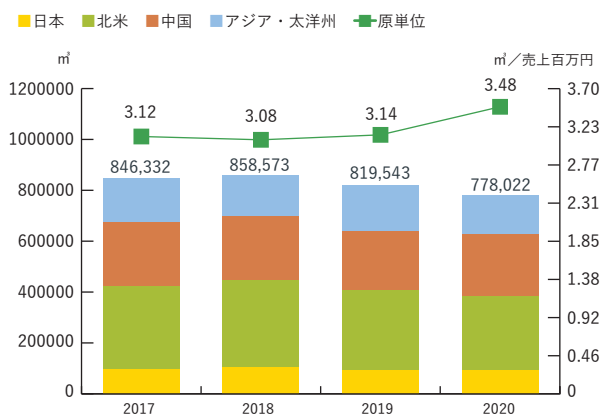
2020年度地域別内訳



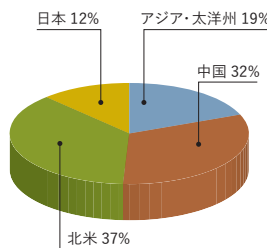
コロナ禍や半導体不足による生産調整の影響を受け、多くの拠点で生産が減少しました。CO₂排出量では、昨年度比で21% (23,082t-CO₂) 減少しています。2020年度の地域別のCO₂排出量では、中国の生産回復が比較的早期に現れ、24%のCO₂排出量の増加となりました。中国を除く地域では、最も大きい減少率はアジア大洋州の45%減(5,417t-CO₂)、減少量では北米の19,351t-CO₂となりました。

北米拠点のF&P Americaが、カーボンフリーとなる原子力発電電力を受給できたことで、CO₂量で12,415t-CO₂を削減でき原単位評価目標を達成することができました。

水資源使用量の実績 目標<2017年度比水使用量原単位3.3%削減>→実績<同11.7%増加>と目標未達となりました。



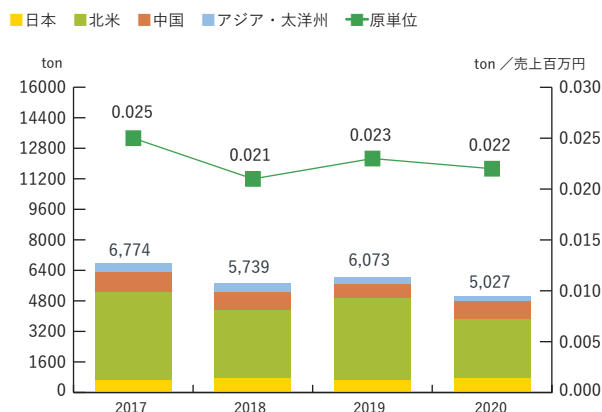
2020年度地域別内訳



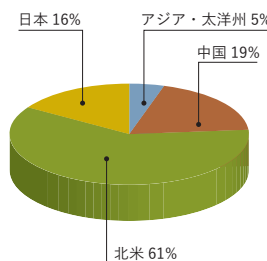
水使用量は、昨年度比で5% (42,521m³) 減少しています。当社グループの水使用量は大半が塗装工程における製品の洗浄や表面処理、電着塗装、蒸気として使用しており、生産と大きく連動していますが、コロナ禍による売上の減少に併せて使用量を抑制することができず目標未達となりました。

塗装工程の水質維持や品質への悪影響を予防するため水依存度の高い拠点が多い状況ですが、目標達成に向けて一層の水使用量削減に取り組む必要があり、当社グループでの水の重点管理化を通じて有効施策を共有し削減に取り組めます。

廃棄物排出量の実績 目標<2017年度比廃棄物排出量原単位3%削減>→実績<同9.9%削減>と目標達成となりました。

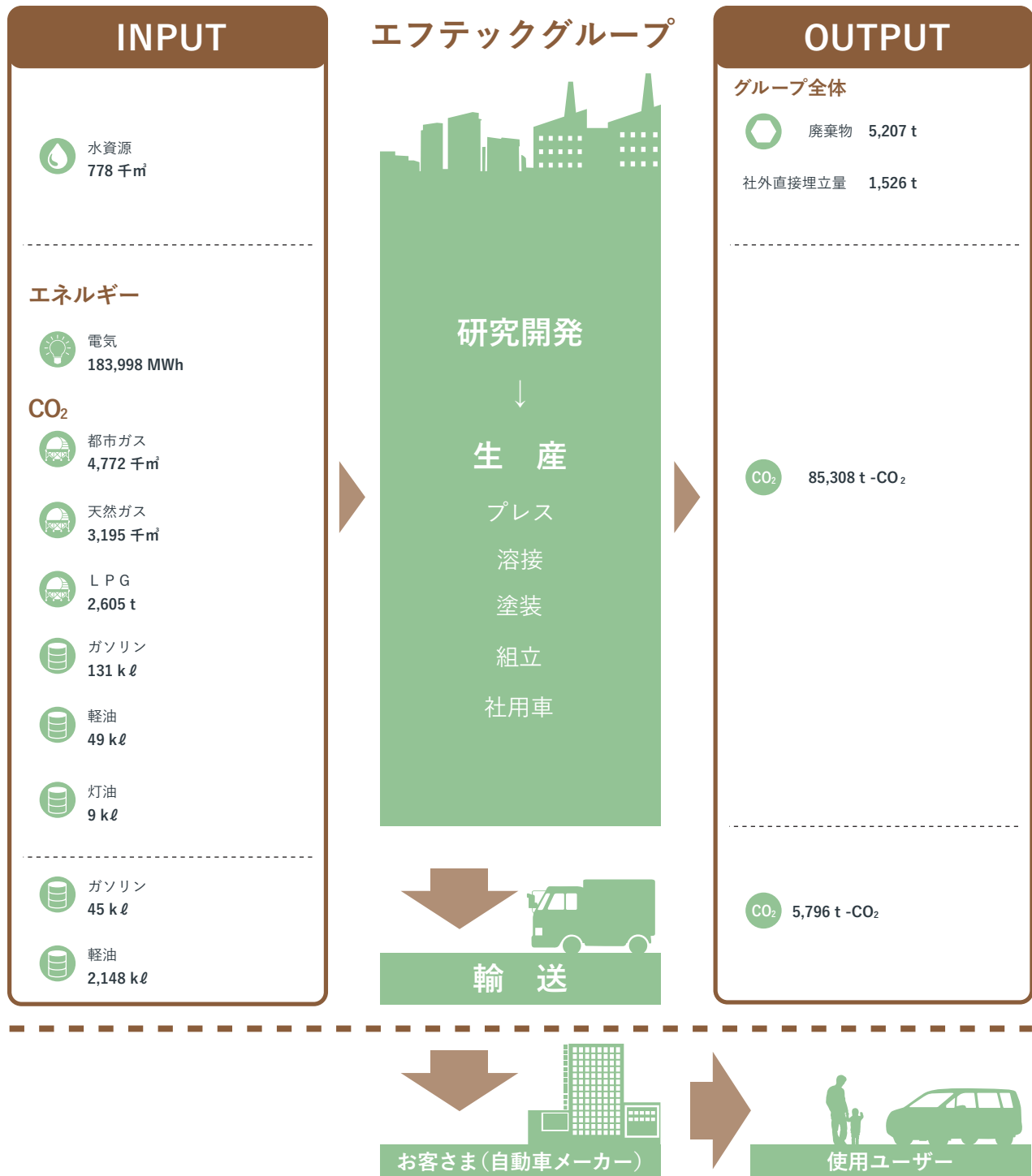


2020年度地域別内訳



廃棄物排出量は昨年度比で17% (1,046ton) 減少しています。地域別の実績では、中国・日本拠点で312ton排出量が増加していますが、北米・アジア大洋州拠点で生産量の減少にともなって1,358ton減少したことが目標達成に繋がりました。生産減少による排出量減少が主になりますが、廃棄物削減の施策は世界環境会議などにおいてCO₂の施策に次ぐ事項として、各拠点の共通認識としているため、グループ一体となり有効施策の共有を図り、引き続き廃棄物排出量の削減に努めます。

※CO₂排出量は、工場、研究所等で使用されたエネルギーと物流で使用されたエネルギーを対象としています。
※日本には、久喜事業所、亀山事業所、芳賀テクニカルセンターの他、国内子会社のデータが含まれています。



- ・ OUTPUT の CO₂排出量は、INPUT のエネルギー使用量に CO₂換算係数を乗じて算出しています。
- ・ CO₂の算出方法は、経済産業省・環境省の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」と WRI/WBCSD「The Greenhouse Gas Protocol」を参考にしています。
- ・ 国内電力は電力会社ごとの最新の係数をもとに算出しています。
- ・ 対象期間は、2020 年 4 月～ 2021 年 3 月のデータです。

エフテック環境会計

エフテックでは、これまでCSRレポートとなる以前の環境報告書発行時から、環境会計情報の準備を進めてきました。環境保全への投資額や費用額を正確に認識・測定して集計・分析を行い、その投資や費用に対する効果を知ることは、取り組みのいっそうの改善を図るとともに、ステークホルダーへの説明責任を果たす上で重要であると考えています。今後、国内外のグループ会社についても、可能な範囲で集計範囲に含めるべく検討する計画です。

① 環境保全コスト

(千円)

分類		主な取り組みの内容	2019年度	2020年度
事業エリア内コスト	①公害防止コスト	大気汚染・水質汚濁防止	15,291	14,781
	②地球環境保全コスト	省エネのための設備投資・フロン含有設備の管理費・適切処理費	110,410	20,317
	③資源循環コスト	産業廃棄物の適正処理費	18,061	18,811
	計		143,762	53,909
管理活動コスト		ISO認証費用、CSR報告書費用、環境測定費用 等	9,003	6,536
研究開発コスト		環境負荷低減のための研究開発	1,090,000	856,000
社会活動コスト		環境保全活動への参加、寄付、支援	2,151	1,920
計			1,244,917	972,274

② 環境保全効果

分類	環境パフォーマンス指標	単位	2019年度 使用量	2020年度 使用量	2020年度 施策削減量
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー量	GJ	254,007	231,264	38,762
	電力	GJ	194,906	176,067	38,473
	都市ガス	GJ	45,019	42,670	129
	LPG	GJ	14,082	12,497	159
	水資源	m ³	75,870	76,858	0
事業活動から排出する環境負荷及び 廃棄物に関する環境保全効果	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	12,349	11,233	394
	社内炭素価値	千円／t-CO ₂	336	336	-
	特定の化学物質排出量	t	0.9	0.9	0
	廃棄物等排出量	t	414	444	0
輸送に伴う環境負荷物質排出量	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	2,208	1,680	178

③ 環境保全対策に伴う経済効果

(千円)

分類	効果の内容	2019年度	2020年度
収益	有価物による事業収入	423,750	431,949
費用節減	省エネ活動に伴う費用節減	14,924	19,230
合計		438,674	451,180

※算出にあたり日本の地球温暖化対策の推進に関する法律に基づくGHG排出量算定・報告・公表制度の発熱量を使用しています。

※当社の環境会計は環境省の「環境会計ガイドライン」に準じて算出され、日本国内の活動分のみを示しています。

バリューチェーンを見据えた 取り組み推進をめざしています。

購買方針

購買部門は当社の「行動指針」に則り、公平・公正かつ透明性の高い取引を行うとともに、お取引先との共存・共栄を目指した取り組みを推進していきます。

- (1) 最適コスト体質の実現
- (2) QCDで魅力ある商品（製品）の調達
- (3) 物流効率の追求

取引先とのパートナーシップ

取引先とは、共により良い製品作りをする良きパートナーとして相互理解に努め、対等な立場で相互の知恵と工夫を駆使し共存・共栄の考えで信頼関係を構築していきます。

グリーン購買

当社グループでは、環境に配慮した部品・材料や製品を優先して購入するグリーン購買の基本的な考えを「エフテックグリーン購買ガイドライン」として定めています。

取引先には下記事項の取り組みをお願いしています。

- ・環境マネジメントシステムの構築
- ・環境関連法令の遵守
- ・製品含有化学物質管理の実施
- ・温室効果ガス排出量の把握と削減

購買方針説明会

例年、会場を設けて開催している購買方針説明会ですが、コロナ禍における来場者及び当社従業員への感染防止を考慮し、昨年度に引き続き、本年度も開催を見送り情報配信のみとさせていただきます。

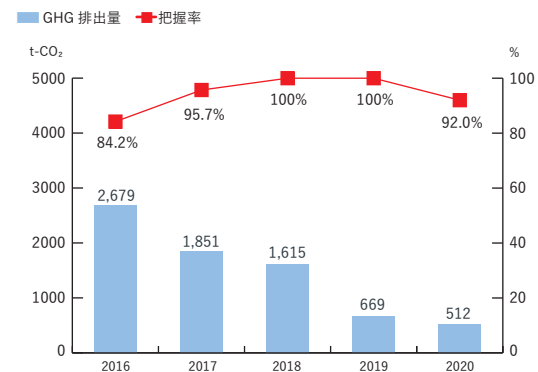
2021年4月にも取引先80社に対し、購買方針説明会資料及び、当社の環境への取り組み事例紹介を配信し、環境取り組み状況調査の協力をお願いしています。

■環境取り組み状況調査

1. 環境負荷物質調査
 - ①各エネルギー使用量
 - ②水資源使用量
2. CO₂削減目標の設定と達成状況
3. 生物多様性活動状況

バリューチェーンでの 温室効果ガス排出量の把握

国内取引先温室効果ガス排出量(2020年度実績)



把握率：取引先企業のうち、エフテックグループ拠点、客先や客先Tier1、商社や福利厚生関係等を除く、総取引金額のうち、調査対象とした取引先の取引金額の累計金額の割合。
GHG排出量：対象企業のうち、取引先において使用しているエネルギー量をCO₂換算で行い、当社に対する売上比率に応じてCO₂排出量を按分し、合計した値。

環境改善事例

- (1) Web MTG 活用により、移動に伴う環境負荷の低減を実施。県内移動も可能な限り控え、Webを活用。
- (2) 輸出品の梱包仕様を改善し、積載効率向上。コンテンツ本数の削減となり、CO₂削減を実施。

製品含有化学物質管理

当社グループでは、製品含有化学物質規制に対し、各拠点で管理体制を構築しIMDS*調査を実施しています。人や環境への有害性があり、法律によって使用が禁止もしくは規制されている物質を「エフテック製品化学物質管理基準書」に定め、これらの物質の使用を厳しく禁じています。

またグリーン購買活動を通じて、取引先の理解も得ながら対象物質の排除に取り組み、これらの物質を含まない製品をお客様に提供しています。

* IMDS : International Material Data System(自動車業界向け材料データベース)

責任ある鉱物調達

紛争のみならず、人権侵害、環境破壊などの不正に関わる鉱物調達の調査を行っていき、紛争地域ならびに高リスク地域原産の鉱物を使用していない製品購入に努めます。RMI*¹が毎年発行している国際的にフォーマット化されたCMRT*²(最新版)を使用して「責任ある鉱物調達」の取り組みを行っていきます。

*¹ RMI : Responsible Minerals Initiative(紛争鉱物フリー推進イニシアティブ)

*² CMRT : Conflict Minerals Reporting Template(紛争鉱物調査帳票)

当社では、2009年から国内外のグループ主要各社が集まって、「世界環境会議」を開催してきました。

2020年度は、コロナ禍の影響により運用を見直しました。2019年度に実施した各拠点の報告資料を配信することで、環境施策の共有化を図りました。結果として国内外の15拠点から合計72件の新たな環境施策が集まり、2019年度施策削減効果は約6,400万円になりました。累計では約4.7億円の改善実績となる環境施策を共有し、グループ全体での環境負荷低減および製造原価低減に貢献することができました。事務局からの主な発信事項は以下の3点でした。

(1) 「2030年グローバル環境目標」の進捗確認

14次中期計画の内容及び2020年度上期実績を共有し、2030年グローバル環境目標の達成に向けた削減実績の状況の確認と2021年度のグローバル環境目標値の確認を行いました。

2030年まで残り10年となり、今後目標値もますます厳しくなります。そこで、オールエフテックを統括管理するJPN事務局では、2021年度から目標管理の方法について改善しました。

- ① 海外拠点の環境実績を、これまでの拠点とJPN事務局のデータのやり取りから、国内拠点同様に自拠点内で結果の共有を確実にしていく。
- ② これまでの拠点の目標に対する実績表示のみでしたが、実績に対して責任者が月度毎に総括する仕組みに変更する。
- ③ 環境評価を行うデータの集計を現行の2ヵ月後から翌月提出へと変更し、海外拠点の集計タイミングを前倒して共有していく。これらによって、課題を早期発見し、対策に繋げていくことを共通認識としました。

(2) 水リスクへの取組み強化

干ばつ、洪水の増加、水質汚染、利用可能水量の制限等の水リスクは、企業にとって無視できない経営課題の一つとして認識され始めており、これまで世界環境会議の主テーマとして水使用量削減施策を重点評価していく事を共通認識としました。しかしながら当社グループにおける水の使用は、生産活動や製品品質に密接に関連しており、容易に減らすことが難しくなってきました。今後の水使用量の削減については、工程別にどのような水質の水が必要なのかなど、より細かい調査を行うことにより、水リスクへの対応を検討していきます。

(3) コロナ禍における世界環境会議の開催の見直し

コロナ禍において、毎年開催してきた世界環境会議の開催についても見直しが必要となりました。

低炭素社会に向けた要請や課題は年々増すなかで、世界環境会議を、グローバルでの環境取り組みの決定や情報交換、人材育成の場として活用してきました。しかし、新型コロナウイルス感染症防止対策として、2021年度からは、WEB会議を活用してグローバルでの環境に関する会議を地域に分割して開催していきます。

2020年度の最優良拠点にはFMTL(タイ)、優良施策1位はF&P(カナダ)が選ばれました。

2020年優良拠点

- 1位…FMTL
- 2位…F&P
- 3位…久喜事業所



2020年度優良施策



1位 F&P 1600tプレスにフローメーター設置

エア漏れを検知し、エア使用量を分析するもので、溶接課での成果を応用した。2021年度内にすべてのプレス機につける計画である。



2位 FPA 廃棄物削減—油吸着マットの再利用

従来は、吸着剤を廃棄物処理していたが、リサイクルによって、7か月間で1.5トンの廃棄物削減となった。



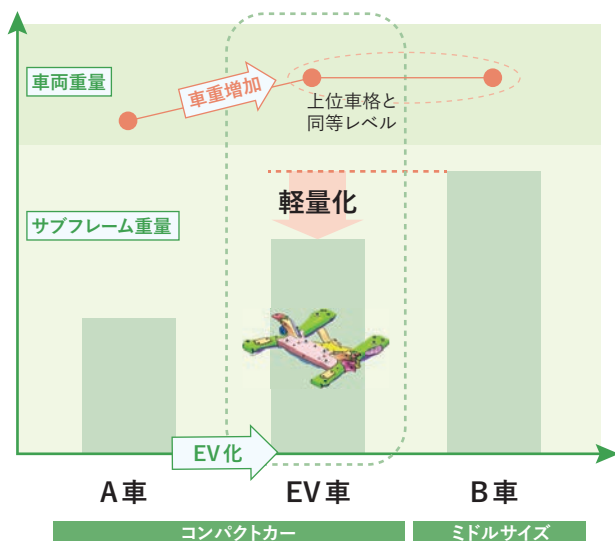
3位 FMTL ゴミの分別強化

ゴミの分別基準の強化とともに、分別意識向上の環境講習を実施した。結果2.2トンの廃棄物削減となった。

自動車の「EV化」「軽量化」に、 独自技術で貢献する

重量増加せざるを得ないEV車の課題に 対応

近年、自動車業界は100年に1度の変革期と言われています。技術の進化のみならず、新規自動車メーカーの参入や、取り巻くインフラを含めたモータリゼーションの変化など、急速に激しさを増している状況にあります。



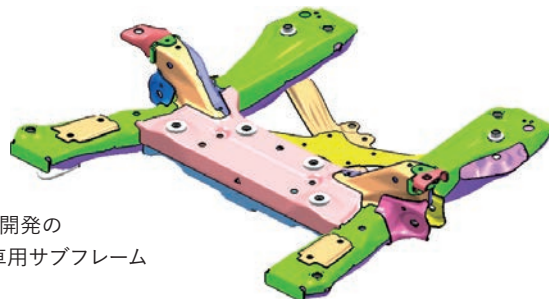
EV車用バッテリーは、車種にもよりますが現状400～500kgもあると言われています。そこで、バッテリー搭載によるクルマ1台の重量増加への対応が必要不可欠となります。コンパクトカーでもバッテリー搭載によりミドルサイズ級の重量となるため、高強度・高剛性を満たしつつ、サブフレームも含め、あらゆる部品の軽量化が必要になります。

その中の1つのキーワードとして、「自動車のEV(電気自動車)化」が挙げられます。既存のガソリンエンジン車に対し重量が大きいバッテリーを搭載する必要性から、自動車1台分の車重は増加傾向となっており、各々の部品単位でも、従来以上に軽量化の必要性が強まっています。

当社でもこれまで、自動車の更なる低燃費の実現や車両性能向上など、年々高まるニーズに対し、各種の開発力と生産技術力等を進化・発展させながら、継続的に軽量かつ高強度・高剛性の製品を生み出してきました。

独自のシミュレーション技術を駆使

直近のEV車用のサブフレーム開発においては、車体重量増加の影響で、衝突安全性能や操安性などの要求性能が厳しくなっています。さらに、エンジンからモーターへの変化によるEV車特有の追加要件が求められますが、当社は独自に発展させてきた最適化設計シミュレーションや、衝突シミュレーション手法を活用し、軽量化と衝突時のエネルギー吸収性能を両立した、新たな製品構造・骨格を構築し、量産に繋げることに成功しました。



当社開発の
EV車用サブフレーム

世界24時間体制のエフテックR&D体制の中核拠点芳賀テクニカルセンター



芳賀テクニカルセンター（栃木県芳賀郡芳賀町）は、1990年に芳賀研究所として設立。2021年4月時点で、開発本部132名、営業本部24名、エンジニアリング本部9名、合計165名からなる開発拠点です。

開発拠点は、グループ内に北米・中国・フィリピンと全5拠点あり、それぞれ役割分担する中、芳賀テクニカルセンターがコントロールタワーの役割を果たしています。

各拠点間の連携で時差をカバーし、かつフィリピンR&Dでは2シフト勤務体制により、世界24時間体制によるグローバルなR&D体制を確立し、圧倒的なスピードとコスト力で世界の市場に対応しています。

今日では、新たなシャーシシステムの自社及び受託開発、新規販路開拓、インド拠点での生産増強、中国製EV向展開など、芳賀テクニカルセンターが主導的役割を果たしつつ、各開発拠点と連携するグローバル体制で取り組んでいます。



F-voice

研究・開発力

時代のニーズに応える、
環境に配慮した最適な部品を提供し続け、
社会や環境負荷の低減に貢献していきたい

芳賀テクニカルセンター
開発本部商品開発部 設計1課

川井 徹



環境配慮から世界的に進む EV（電気自動車）化に対応する

私は、ものづくりと自動車に興味があり、学生の時にモーターショーを見学した際に、ハイドロフォームやアジャスタブルペダルなど、独自の技術力に加え、開発から生産まで一貫で行えるエフテックに魅力を感じ入社を決意しました。

入社以来、私はサブフレームという部品の設計に携わっています。この部品はエンジンやモーターを搭載し、自動車の運動機能に関わるサスペンションやボディを支える重要な部品です。

近年、自動車の製造及び走行に関わるCO₂排出による環境影響への懸念から、世界各国で自動車業界に対する環境規制が年々強化されています。各自動車メーカーでも自動車のEV化を加速しており、当社が専門とする足廻り部品もその変化への対応が必要となっています。

最大の課題「部品軽量化」に、独自の設計最適化シミュレーション技術で取り組む

EV車の商品性を高める要素の一つとして、部品の軽量化による車の航続距離への貢献があります。しかし、EV化による変化は、過去に例の無い周辺部品の配置、車体重量が増加することで、高まる要求性能、電気系部

品の保護を考慮した衝突安全性能などの、EV車特有の追加要素への対応が必要なため、従来以上の性能確保と軽量化の両立が求められます。

私たちはこの難題に対して独自の設計最適化シミュレーションを用いながら、開発部門・生産部門で何度も議論を重ね、軽量かつ高性能、そして自社で生産可能な新しい骨格構造のEV車用のサブフレームを作り上げました。

蓄積されたエフテックのノウハウを土台に 新たなことに挑戦し続けたい

新しいものを作り上げる時は、始めから思うような結果を得られるわけではありません。これまでに当社が培ってきた技術力やノウハウの土台があったからこそ成し得たことだと思っています。

設計業務はすべての部門との連携が必要なだけに、難しい問題に直面することは多々ありますが、自分が設計した部品を搭載した車を街で目にするたびに、大きな感動とやりがいを実感しています。

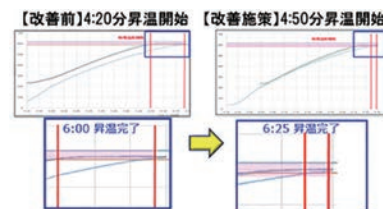
今後も新たなEV車への最適な部品提供や、さらなる環境問題への対応においても、培ってきたエフテックのノウハウを最大限に活かしつつ、新たなことにチャレンジし続ける事で、私自身、会社とともに成長していきたいと思っています。

久喜事業所では、2020年から、収支・品質・環境改善を目的にした「改善玉出し会議」を毎月開催し、各種改善活動を実施しています。会議では、現場からボトムアップで改善案が出る機会が多く、本事業所の設備群の中で、消費電力の高い「焼鈍炉」に関する改善事例も、現場作業員より“気づき”と“疑問”から提案されたものです。

改善施策は、「焼鈍炉、昇温開始時間変更による電力量削減」です。通常は昇温開始から生産可能温度に到達した後、生産開始までにタイムラグが発生しますが、昇温開始時間をタイムラグの分だけ、時間を遅らせることで電力使用量を削減させるというものです。各種設備は、メーカー推奨、導入当時に決めたやり方が正になっており、ほとんどの従業員は、多少疑問に思っても厳守してきましたが、今回はこれに変革意識の下、この方法に疑問を持った結果、改善に繋がりました。単純な内容ですが、消費電力は14.448KW/年の削減となりました。



メッシュベルト式 焼鈍機



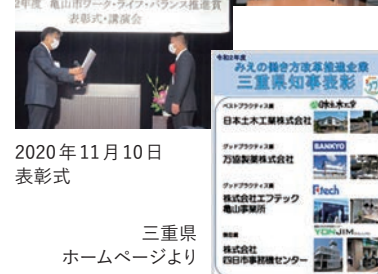
亀山事業所（三重県亀山市）

三重県では、だれもが働きやすい職場環境づくりを目的に、「みえの働き方改革推進企業」登録・表彰制度を実施しています。登録・受賞企業は県のホームページや広報誌に紹介され、登録企業を意味するシンボルマークを名刺やパンフレットに活用することで企業のイメージアップ、知名度向上が期待されます。

亀山事業所は2019年度の応募登録以来、2020年度は年次有給休暇取得促進、長時間労働の抑制、近隣学校の工場見学受入れによる地域貢献等の長年の実績が評価され県知事表彰である「グッドプラクティス賞」を受賞しました。また、亀山市において新設された「ワーク・ライフ・バランス推進賞」にも応募し、受賞4社のうちの1社に認定され、亀山市内での企業PRにも繋がりました。



2021年3月4日
表彰式



2020年11月10日
表彰式

三重県
ホームページより

芳賀テクニカルセンター（栃木県芳賀郡芳賀町）

芳賀テクニカルセンターでは軽量化部品の開発に取り組んでいます。図面化され各拠点で量産化された部品はグローバルで客先の燃費向上に貢献するとともに、地球環境にも貢献しています。

また、芳賀テクニカルセンターは保有設備のエネルギー使用抑制によるCO₂排出量の削減に取り組んできました。今期の主な活動として、技術開発部の「加振機暖機運転時間の削減」が挙げられます。加振機の暖機運転は、前期までは加振機の性能を低下させるスラッジの発生防止等の観点から2時間行っていました。

今期より、スラッジ防止の添加剤を使用することで暖機時間を0.5時間に見直し、年間の消費電力量を12,760kWhから3,190 kWhへ、9,570 kWh削減することができました。これをCO₂排出量に換算すると、年間で3,617kgの削減となり、電気料金では前期比で▲75%の¥57,420(¥18/ kWh換算)という大幅な削減となりました。



Japan



フクダエンジニアリング株式会社（FEG / 埼玉県加須市）

BCPの一環として：災害用備蓄

FEGでは事業継続計画（BCP）の一環として、従業員の安全を確保し、速やかに事業を再開するために、社内書庫に食料や飲料水の備蓄を行っています。

これは、災害により会社が孤立するなどして、従業員の帰宅が不可能となった場合や、災害後に自宅での食糧の入手が困難になった場合に配布することを目的としたものです。

品目については、味の種類が豊富でゴミもかさばらず処分しやすいアルファ米と、2Lのペットボトルに比べ、持ち運びが便利で飲みやすい500mlのペットボトル水を選定しました。

数量は、アルファ米が全5種類の味を合わせて全従業員約3食分、500mlの水は一人あたり約5本分を用意しており、マニュアルを作成して定期的に消費期限や保管状況の確認、品目の見直しを実施しています。また、各家庭での備蓄推進支援のため、パンフレットを作成し食堂に掲示しました。



株式会社九州エフテック（QFT / 熊本県山鹿市）

強い要望により、万全の準備体制で工場見学開催。万全の準備体制

2020年度はコロナ禍にあり、小学校の工場見学は受入れない方針でした。しかし、近隣の小学校の強い要望もあり、工場見学を受入れることとなりました。コロナ禍での工場見学は初めての経験でしたが、見学当日には、従業員総出で生徒が座る椅子、机等は全て消毒し、ドアノブも全て消毒して準備完了。また、工場入口で生徒の手を消毒するなど、万全の受け入れ体制で、無事に工場見学していただくことができ、胸をなでおろしました。

最後に、先生より『コロナ禍の状況で、どこの企業からも断わられていた中、工場見学を受入れて頂きありがとうございました。生徒達も色々なイベントが中止になる中、工場見学ができて大変喜んでいました。』と感謝のお言葉を頂きました。



株式会社リテラ（埼玉県秩父郡小鹿野町）

工場排水法令の遵守

当社は河川の源泉域にあり、下流域である都民など多くの方々の飲料水となることから、排水についての厳しい行政の立ち入り検査も年に数回受けています。

2ヵ所の工場での排水量は40t/日、フィルタープレスで汚泥を回収した後に処理水は生物処理槽でろ過され、後に河川に自然勾配で放流しています。

水質管理項目で「SS:浮遊物質」があり、以前は測定業者にサンプリングを採取送付し測定依頼していましたが、現在は排水口に計測器（SS計）を設置して社内ネットワークでリアルタイムに監視。夜間で異常時に作動する「放流水自動停止機能」も備えています。さらに、「MLSS：活性汚泥浮遊物質濃度」を計測機で日々測定して異常時の余地判断も行い、異常値警告ラインに到達した場合は管理関係者へ瞬時に通報が届き、早急な対応が取れる体制も整えています。

昨今、国際条約にも掲げられているSDGsにおける社会への貢献に関連して、今後も継続して管理・監視に努めてまいります。



秩父工場は工業団地内にあり、排水は近隣企業とともに行政で管理している排水処理場で再度クリーン化され河川に放流されます。



North America

F&P America Mfg., Inc. (F&PA / アメリカ オハイオ州)

地域貢献 献血活動

F&P Americaでは2020年6月、8月、11月そして3月の計4回の献血に、合計104名の従業員が参加しました。

奨学金の授与

当社では、トロイ奨学金受給者選考財団を通じて、\$5,000の返済不要の奨学金が、2名のトロイ市高校の学生と2名のトロイクリスチャン高校の学生の合計4名に授与されました。対象はいずれも上記高校の3年生です。

<選定基準>

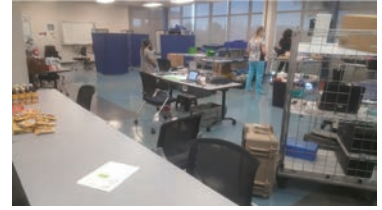
それぞれの高校に授与される奨学金の内1つは必ず2年制もしくは4年制大学の機械工学、ロボット工学、製造管理といった分野を専攻するために使用されなくてはならない。

もう1つは必ず2年制、若しくは4年制大学のビジネス、会計、ファイナンス、マーケティング、人事といった分野を専攻するために使用されなくてはならない。

申請者は成績評価値で最低でも3.0を取得していなくてはならない。

成績評価値に加え、奨学金を必要としている家庭の財務状況、並びに地域福祉活動への参加状況が考慮される。

<https://thetroyfoundation.org/troy-high-school-scholarships>



F&P Georgia, A division of F&P America Mfg., Inc. (F&PG / アメリカ ジョージア州)

健康促進活動 Wellness

FPGでは従業員の健康促進に力を注いでいます。健康促進は、個人、企業それぞれに最も重要なことであり操業開始当時より継続されています。現在は医療保険エージェンツの参画によるイベント企画やインストラクターを迎えてのフィットネス指導にまで拡大してきています。

FPG独自の活動も合わせて行っています。難病により高額な医療費を必要とする家庭に対してチャリティー企画として近隣地域でマラソン大会を開催したこともあります。大会の開催により、コミュニティとのコミュニケーションを高めるとともに地域貢献も図っています。工場が所在するROME地区においてFPGは高い評価を得ており、存在感のある企業となっています。

これらの企画は全従業員に発信し、ある一定期間での成果を競い合います。個人もしくはチームでアクティビティを行うことで、多くの人との接点ができ、チームワークにも繋がっています。2020年度はCOVID-19の影響から多くの企画を中止せざるを得ませんでしたが、歩行距離を競うWalking Challengeと体重低減幅を競うWeight Challengeを企画実行しました。

健康促進活動は本来の目的である健康維持だけでなく、医療保険料低減や地域貢献にも繋がっており企業にとっても大変有意義な活動となっています。COVID-19の影響緩和や規制解除が待ち望まれますが、更なる活動の活性化を図ってきたい思います。



F.tech R&D North America Inc. (R&DNA / アメリカ オハイオ州)

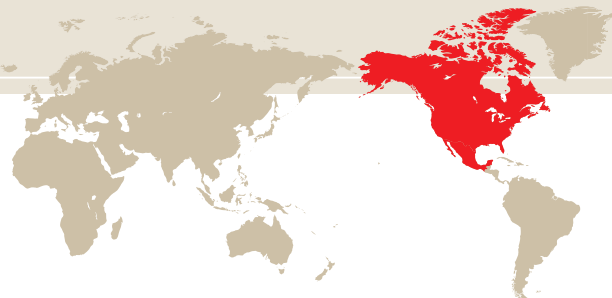
ISO17025 認証の取得をめざして

開発品質の向上は、当社の重要な継続改善内容の一つです。当社は2017年からISO 9001:2015の認証を取得しており、これを足掛かりに、姉妹会社であるF&P工場のIATF 19649:2016認証の遠隔地支援部門としてのニーズに応えています。2020年には、ISO 9001:2015の認証審査の際にIATF 16949:2016基準での審査を行い、無事F&Pグループをサポートできました。また、当社の試験品質の保証とラボの能力・管理が業界基準を満たせるようにISO 17025:2017の認証に向けての調査を開始し、2021年に認証審査を受けることを目指しています。

さらに、既存のERP（企業資源計画）システムを品質管理に役立てています。ERPシステムでサプライヤーのデータベースをデジタル化し、承認状況を維持管理しています。このシステムによって、サプライヤーが一定の要件や認証を満たしているかをモニターし、要件を満たさないサプライヤーには発注されないようにしています。



North America



F&P Mfg., Inc. (F&P / カナダ オンタリオ州)

COVID-19 影響下の継続的活動推進

2020 年 F&P は、COVID-19 の影響を抑えつつ、以下のような環境活動に積極的に取り組みました。F&P は環境への影響を削減していく一環として、従業員の積極的な提案を奨励していきます。

- ・ Honda of Canada Mfg. のご協力で「Bee Manufacturing 2030」というデータベースを通じ、多くのベストプラクティスと改善アイデアにアクセスできるプログラムに参加しました。これは、活動の整理、追跡、管理に役立つアクションプログラムとなっています。
- ・ 需要を予測し、廃棄物を特定するために圧縮空気使用量メーターを設置しました。
- ・ エネルギー消費を削減するために、VFD コントローラーを備えたアップグレードされたスタンピングスクラップコンベヤー制御システムを導入しました。また既存の照明を LED に置換えました。
- ・ 台車部品の数量をスタンピング段階から増やして、トラックの出荷を月 6 台削減しました。
- ・ 廃棄物削減のために、消耗品の使用方法について溶接作業員に教育を実施し、これにより一部の溶接領域ではチップとノズルの使用量を 50% 削減できました。



Dyna-Mig, A division of F&P Mfg., Inc. (DYNA-MIG / カナダ オンタリオ州)

慈善団体「United Way」のサポート

DYNA-MIG は、20 年以上に渡り、慈善団体「United Way」のサポートを行ってきました。この団体のサポートを決めた理由は、貧困、ホームレス、飢餓、社会的孤立、メンタルヘルスなど無視できない問題に取り組んでいるからです。

当社従業員からの寄付は、パース及びヒューロン群全体のコミュニティの貴重なプログラムとサービス提供に活かされています。2020 年は合計 25,342 人が支援されました。

DYNA-MIG は、「United Way」のトップ 20 ワークプレイスキャンペーン 2020 年ヒューロンパースで 11 位にランクイン。目標の 170 万ドルを上回る 192 万ドルの資金調達ことができました。目標を達成することで、私たちは多くの地元のグループが直面する貧困や感染症対策を支援します。



F&P mfg., De Mexico S.A.DE.C.V (FPMX / メキシコ グアナフアト州)

COVID-19 対策による廃棄物削減への取り組み

COVID-19 対策の実施によって、消毒ジェルやアルコールの個別容器や使い捨てマスクなど、多くの廃棄物が発生することが分かりました。処分費用などを考慮すると、廃棄物対策を検討する必要性がありました。

対応方法としては、容量の大きい容器で購入するとともに、定期的に洗える布マスクを従業員へ配布し、廃棄物の削減に努めました。また、グアナフアト日本人学校にも 200 枚の布製マスクを寄贈しました。

従業員の送迎バスは、便数が増えないよう、座席の間に仕切りを設け、バスには抗菌ジェルディスペンサーを設置しました。

2020 年 9 月から、従業員にリサイクルの重要性を認識させることを目的に、キャップ回収キャンペーンを開始しました。プラスチック製のキャップの販売売上は小児がん法人を支援することを目的としているため、従業員の反応は非常に良く、参加への関心が高まっています。



送迎バスに仕切りカーテン・消毒ジェル



日本人学校に寄付したマスク例



キャップ回収箱

FEG de Queretaro, S.A. de C.V. (FEGQ / メキシコ ケレタロ州)

インフルエンザ予防接種キャンペーン

病気予防対策の一環として FEGQ では、気温が下がり、風邪やインフルエンザが流行する毎年 11 月から 2 月の間、予防のための手洗い推奨、摂取すべき食物の指導や予防接種のキャンペーンを行っています。特に 2020 年は COVID-19 流行により症状が似ているインフルエンザへの感染を予防するためのワクチン入手すべく、メキシコ社会保険庁の病院との取り組みを行いました。

呼吸器疾患の蔓延を防ぐため 2020 年 2 月と 2021 年 1 月、従業員とその家族に対しインフルエンザの予防接種キャンペーンを行いました。





China

偉福科技工業（中山）有限公司（FTZ / 中国 広東省）

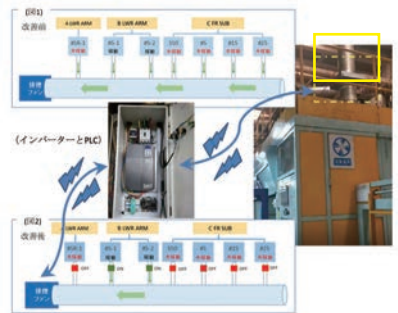
溶接セル排煙ファン省エネ改善

当社では排煙ファンを16台使用しています。（図1）のように1台の排煙ファンで、複数ライン（溶接セル）に対応しています。そのため休憩時間や設備故障の際に、排煙ファンを停止することはできません。また、各溶接ラインの生産計画の違いから一部ラインが未稼働であっても、排煙ファンはフル稼働しています。これによってファン稼働電力がムダになるだけでなく、工場内空調の冷気も吸い込まれて、空調の効果も悪くなります。

そこで、各溶接セルのダクト毎に開閉できるシャッターを設置（図2）。シャッターは溶接セルの稼働にあわせて自動で開閉します。さらに排気ファンにインバーターを取付け、稼働するセルのシャッター信号を排煙ファンのPLCにフィードバックすることで、排煙ファンの周波数を調整し電気使用量を削減します。

この改善で排煙ファン1台当りの電気使用量が、年間約8.7万kWhの削減となりました。また、冷気の吸い込まれる量の削減で年間電気使用量14.1万kWhの減少が見込まれます。全ての排煙ファンにこの改善を実施したことで、年間電気使用量は153.37万kWhの削減、コストは130.38万元の削減となる見込みです。（2021年2月、全溶接セルにシャッター設置完了済）

（図1）



（図2）

感知センサー設置
センサーの自動感知により自動噴霧

偉福科技工業（武漢）有限公司（FTW / 中国 湖北省）

廃水総排出口のオンラインモニター設備の導入

近年、中国政府による環境法律法規がいつそう強化され、各企業に対する環境保護の要求も高まっています。現在、自動車製造業汚染物排出許可証の承認要求にに応じて、重点汚染物排出企業は総排水の出口でpH値、COD、アンモニア窒素、リン酸、流量などのオンラインモニター設備により設置が必要となりました。

それに伴い、2020年6月に当社環境事務局と塗装科は共同でオンライン設備の導入を推進しました。オンライン設備は所属地区の東西湖区環境局とネットワーク化され、当社の污水排出の状況はリアルタイムにモニターできるようになりました。オンライン監視室に前述のオンラインモニター設備の設置や、総廃水排出口を標準化するための排出導水路の改造など、総投資額は40万元でした。

当社の排出污水は既に都市の下水道に繋がり、東西湖区污水处理センターで二回処理された後、川に排出されます。2020年10月にオンラインモニター設置後は、pH値、COD、アンモニア、窒素等の排出量の数値は各排水指標の基準値以内で推移しています。



オンライン監視室



オンラインモニター設備

偉福（広州）汽車技術開発有限公司（FR&DCH / 中国 広東省）

試験用薬品管理の見直しと徹底

2020年度は、「化学薬品の安全な保管」を課題として、改善を実施しました。

当社の化学薬品使用量は種類も少なく、使用量も多くありません。しかし、化学薬品の保管は、国家の法律、規定及びその他規定を遵守する必要があります。そこで、改めて化学薬品についての管理ルールを全社に明確化するため、改善活動をスタートしました。関係部署や各担当が集まり、数回に渡る会合の結果、化学薬品の保管場所を1F原料室に選定し、法規に適応するように改修工事を行うとともに、手順書・管理規定等も作成しました。化学薬品の性質、効能などにより、分類して保管することとし、混入できないものを仕分けて保管する方法を決め、ルールに沿って運用しています。



1F原料室に選定

Asia

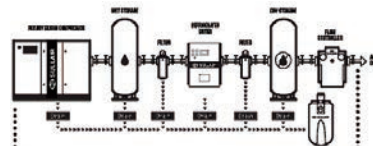


F.tech Philippines Mfg.,Inc.(FPMI / フィリピン ラグナ州)

エアコンプレッサーの変更等で50%節電

当社ではCO₂排出量およびコスト削減を目的に、従来のエアコンプレッサー(Yデルタ駆動)に代わるインバータータイプの空気圧縮機(VFD駆動)を導入するとともに、エアレシーバータンクの容量を2000リットルから3000リットルへとアップグレードし、空気処理プロセスを改善しました。

エアコンプレッサーをインバータータイプに変更することにより50%の節電が可能です。加えて圧力の変動を防ぐこともできます。これらの結果、234,300kWh/年のエネルギー削減、Php1,663,530/年のコスト削減と149.15t/年のCO₂排出削減が見込まれます。投資額はPhp2,030,000で、投資回収期間は1年3カ月です。



F.tech R&D Philippines Inc. (FR&DP / フィリピン ラグナ州)

照明灯変更による電力削減

グループ「CO₂排出原単位削減目標」に沿って、当社はオフィスエリアの照明を蛍光灯(72ユニット)からLED灯へ変更しました。FR&DPは2勤体制のため、24時間照明が必要です。今回の改善で、月あたり約500kwという大幅な電力削減と、オフィスへの確実な明るさがもたらされました。

新型コロナウイルス感染症への対応

COVID-19の発生に伴い、当社は法令を厳守し、健康に関する独自のガイドラインを導入することで、最初の6か月間感染者0人を維持しました。その後、31%の従業員がウイルスに苦しんでいた一方、より厳格な管理と予防措置を講じることで、ウイルスの蔓延を防ぐことができました。特にフェイスマスクとフェイスシールド、定期的な消毒、物理的な距離の保持については厳重な対策をしています。

台風被害へのカンパ活動

フィリピンでは毎年、平均9回の暴風雨が上陸しています。2020年11月カテゴリー4レベルの強力な台風ユリシーズ(Vamco)がルソン島北部を襲い、いくつかの州で深刻な被害をもたらしました。当社従業員はボランティアで、1週間にわたり募金や必需品を集めるカンパ活動を実施。この活動は、フィリピン赤十字社を受益者として、特定のラグナテクノパーク管理局のロケーターと連携して行われました。



F.tech Mfg., (Thailand) Ltd. (FMTL/ タイアユタヤ県)

地域小学校への環境教育と学校環境整備に協力

2020年度は、会社周辺の学校の調査をした結果、アユタヤ県ウタイ市ノンマイソン町の「ワット・サナムトーン・ミトラパーブ」という小学校で、日用品の不足や、国旗ポールスタンド及び排水溝の故障が分かりました。当社は、児童たちの教育環境向上及び安全確保のため、必要な日用品の手配と故障物の修理や環境整備を行いました。

加えて、国の将来を担う子どもたちの環境意識を高めるため、ゴミ分別・リサイクルについての教育を実施し、子どもたちが日常生活でも継続できるように啓発しました。

また、使わないカレンダーや当たらなかった宝くじを寄付する活動や、献血活動、アルミ材のプルタブ回収など、継続的なCSR活動も引き続き実施しています。



PT.F.TECH INDONESIA (FTI/ インドネシア カラワン県)

孤児院への寄付

2020年度、インドネシアでもCOVID-19の影響による大規模な社会的行動制限によって、社会貢献活動が制限されました。現在も、制限は継続中ですが、「安全で健康的、生産的な社会」に向けて国全体が準備をしています。

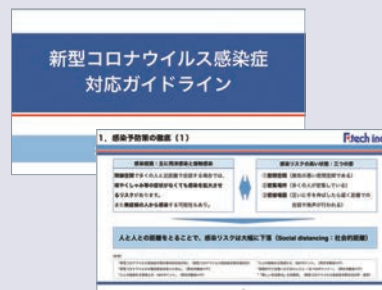
その様な状況の中ですが、我々はコロナ禍において生活が一段と厳しい環境にある5歳以下の子供たちがいる孤児院へ寄付活動を行いました。FTIは今後も地域貢献に対する取り組みを積極的に、かつ継続的に行っていききたいと考えています。



新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応

エフテックグループでは、人命尊重を第一に揚げ、従業員およびその家族の感染予防と感染拡大防止に努めています。また、顧客・取引先を含むサプライチェーンの一翼として、供給責任を果たすべく全力で取り組んでおります。

また、「アフターコロナ」や「withコロナ」といわれる制約的な生活環境、経済環境は当面継続すると考えています。感染対策の一つとして、「新しい生活様式の定着」が求められており、当社グループとしては生産面、働き方、業績面などさまざまな観点から新型コロナウイルス感染症への対応を実施していきます。



全社共通の対策事項

従業員に感染者が出た場合

- ・「熱が37.5度以上ある」、「だるさ、息苦しさがある」、「嗅覚、味覚に異常を感じる」など、本人または家族に感染症の疑いがある場合は、速やかに上長へ連絡し、出勤停止とする。
- ・感染者が出た場合は、職場でのクラスター防止のため、すみやかに感染者の行動記録を作成し、保健所へ報告。濃厚接触者や消毒の範囲を特定し、共有スペースや接触したと思われる箇所の消毒を実施。
- ・濃厚接触者については、保健所の基準・指示に従い、PCR検査（行政検査）を受診し、陰性の場合は感染者との最終接触から14日間の健康観察を行い、感染している可能性が低いと判断されるまで出勤を停止する。

感染拡大を防ぐ対応

緊急事態宣言下では、専門家会議から出された推奨事項を積極的に取り入れ実行しています。

3密を削減するため：

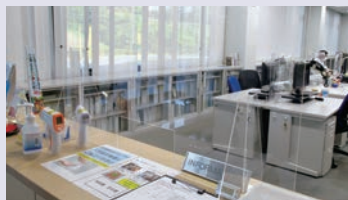
- ・在宅勤務、シフト勤務実施による人と人との接触を削減
- ・不要不急の外出・移動の禁止
- ・公共交通機関で通勤する者の自動車通勤への変更、時差通勤、在宅勤務の実施
- ・事務所、食堂のレイアウト変更
- ・WEB会議の活用

基本的行動における留意事項として：

- ・マスク着用、手洗い励行、アルコール消毒、室内の
常時換気の実施

ガイドライン策定：

- ・上記について取りまとめ「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を策定し、全従業員に注意喚起しています。



事業活動について

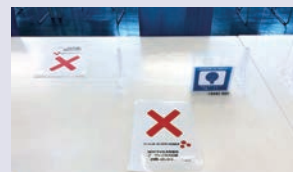
- ・生産面では、生産現場の就業環境を見直すと共に、部品供給責任を果たすため、原材料・部品の調達や各拠点間での生産補完体制を構築推進。
- ・働き方では、緊急事態宣言に対応し、臨時的に間接部門の在宅勤務、シフト勤務などを実施。これら結果を踏まえてフレックスタイム制度の適用部門の拡大、労使にとって望ましい労働環境の整備。
- ・業績については、売上高が大きく影響を受ける環境の下、以下3点を目指していく。
 - ①利益確保できるコスト構造の確立。
 - ②試作レス開発（設計・解析で完結）による時間・コスト削減の実現。
 - ③自動車の足廻り部品製造に加え、新しい事業を構築。

在宅勤務の実施状況

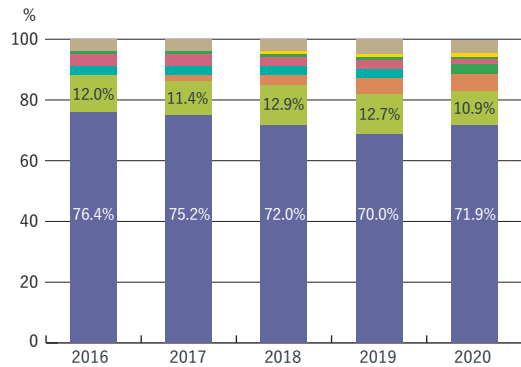
在宅勤務は緊急事態宣言下において、人と人との接触を避けることを目的に臨時的に実施しています。

在宅勤務は、従業員約850名のうち、製造部署を除く間接部署約380名を対象に実施し、職場ごとに日々の出勤率を、政府からの要請に従いました。また、在宅でのリモートワーク推進については、IT環境整備や、業務内容・プロセスの改善などを推進した結果、業務推進への影響はありませんでした。

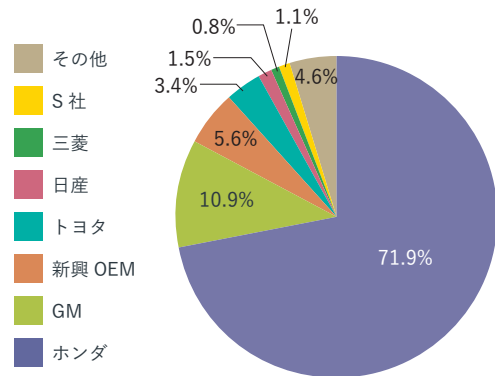
今回の対応を踏まえ、労働環境を整備することで、会社にとっても従業員にとっても、より働きやすい環境が実現できると考えています。



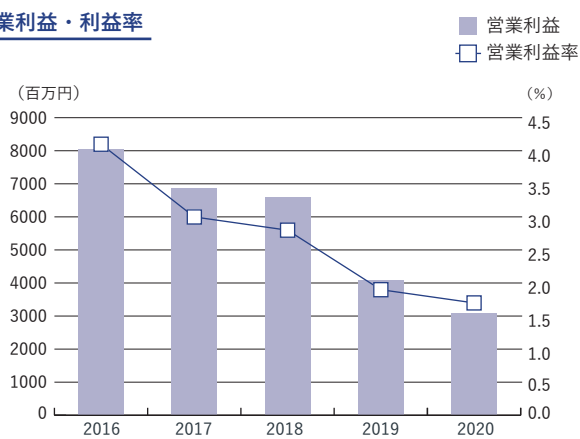
得意先別売上高シェア



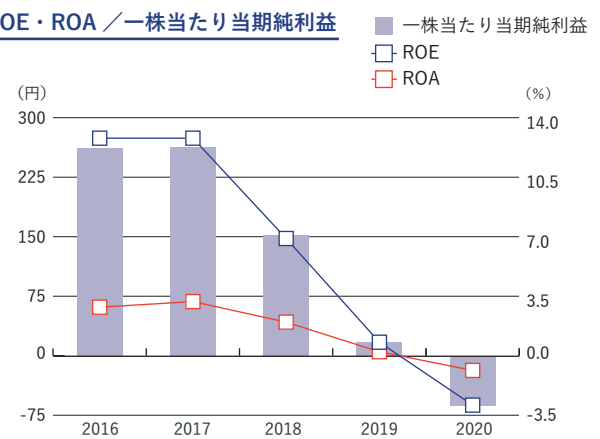
得意先別売上高シェア 2020年度詳細



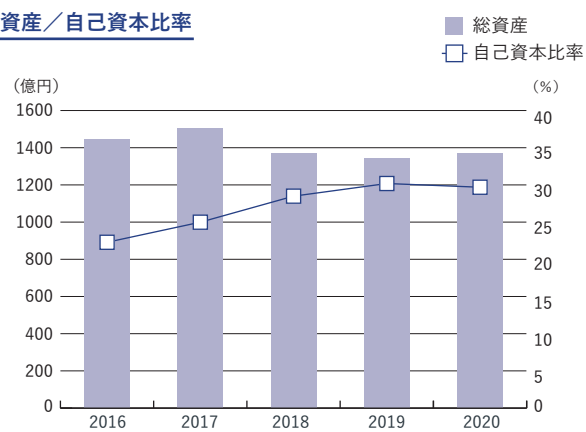
営業利益・利益率



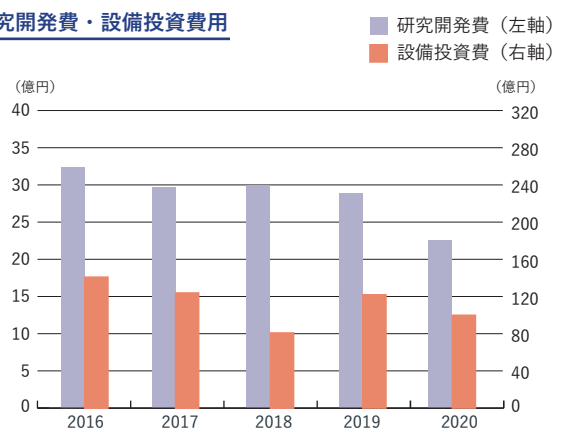
ROE・ROA / 一株当たり当期純利益



総資産 / 自己資本比率



研究開発費・設備投資費用



育児休業 各年度内の発生人数

	2016	2017	2018	2019	2020
産休	5	6	4	4	4
育休	6	7	7	6	7
復帰者	7	6	4	10	4
退職	0	0	1	0	0
復帰率	100%	100%	80%	100%	100%

役職別 男女人数

(毎期 4 月 1 日基準)

	管理職登用		管理職		部長		課長		係長	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
2016	8	0	156	2	20	0	25	1	39	2
2017	10	0	166	2	19	0	23	1	38	3
2018	13	0	177	2	19	0	27	1	45	3
2019	7	0	171	2	17	1	30	0	49	2
2020	8	0	175	2	16	1	34	0	50	2



発行：株式会社エフテック
〒346-0194 埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼 19 番地

問合せ：株式会社エフテック
管理本部 総務部
TEL. 0480-85-5211 FAX. 0480-87-1290
E-mail : webmaster@ftech.co.jp

2021 年 10 月発行 次回発行 2022 年 9 月予定